夕刊
臺灣日日新報
五月十四日

シヤチハタ 萬年スタンプ台

皇軍マライバライに進駐
ミ島敵軍司令部所在地掃蕩

【マライバライにて十三日同盟特派員發】わが〇〇部隊は午前八時米比軍ビサヤ、ミンダナオ軍司令部所在地であつたブキドノン州の首都所在地マライバライに堂々進駐直ちに同地に集合しつゝある米比軍及住民の監理と市内の警備についた、なほマライバライ東方七キロの米比軍兵舎に監禁されてゐたカガヤン在住邦人山本紀幸氏（鹿兒島縣）並に村上庄三郎氏（福岡縣）ら邦人男子四十一名、ドイツ人一名は無事〇〇部隊の手によつて救出された

惠通橋も谷底へ
怒江沿線累々たる敵屍

【雲南省惠通橋にて十四日同盟特派員發】龍陵から怒江西岸まで三十餘マイル蜿々たるアスファルト道路が續いてゐるが沿線至る所に敵軍の殘骸トラックが夥しい敵屍と共に遺棄されてゐる、[illegible]

緬甸派遣費を要求
敗戰重慶、英に居直る

【廣東十四日發同盟】當地に達した重慶情報によればビルマ派遣軍の完全敗退に氣を腐らせた重慶側は俄然居直つてビルマ派遣軍費を英國に要求し[illegible]

英、緬甸を諦む

【ベルン（スイス）十三日發同盟】[illegible]

學士院會員、本年度受賞者に午餐下賜

【東京電話同盟】[illegible]

英軍將兵喪失
總數十八萬

【リスボン十三日發同盟】ロイター・ロンドン電によればアトリー副首相は十三日下院において一九三九年九月三日より一九四一年九月[illegible]

ガソリン消費
規正を米斷行

【ブエノスアイレス十三日發同盟】[illegible]

日英外交官交換船
エールの基地へ

【リスボン十三日發同盟】AP通信ブエノスアイレス電によれば[illegible]

武漢周邊の戰況
資源枯渇の敵士氣全く沮喪

【漢口十三日發同盟】中支軍發表（五月十三日）四日中における武漢周邊の戰況左の如し[illegible]

黃衣の僧も斥候に
熱烈・緬甸人の敢闘協力

【東京電話同盟】山本陸軍報道班員手記、炎熱下皇軍のビルマ作戰を助けて[illegible]

理解

[illegible]

大人

[illegible]

牛車

[illegible]

尊敬

[illegible]

日本

[illegible]

日本語講習會
昭南市に開催

【昭南市十三日發同盟】マレー軍[illegible]

官吏育成所設置
來年四月から昭南市に

【昭南市十三日發同盟】マレー[illegible]

密林中を殘敵掃蕩中の我陸戰隊 ニューギニア、テルナテ島にて ―海軍省許可濟第五七一號―

獨軍ケルチ突破成功
赤軍を殲滅、捕虜四萬

【ベルリン十三日發同盟】[illegible]

春季攻勢幸先よし
快勝に獨國内非常な感激

【ベルリン十三日發同盟】[illegible]

ソ聯側敗退を認む

【リスボン十三日發同盟】ロンドン[illegible]

翼贊會問題協議
關係閣僚引續き鳩首

【東京發同盟】[illegible]

獨軍司令部戰況發表

【ベルリン十三日發同盟】[illegible]

長谷川總督南部へ
十八日高雄州視察へ

[illegible]

臺南州知事の意見
地方長官會議（三）

[illegible]

不遜英軍の誤算
香港復興に大利益
石田香港總督顧問談

【香港發同盟】[illegible]

人事

[illegible]

産めよ子寶
國の爲 家の爲
淺井園

鉛筆と
作戰に… 報告に… 報導に… 通信に… 記錄に… 生産に…
鉛筆の役割は今や愈々重大！

健民健兵
健康は國家の武器だ！
ラ イ オ ン はみがき

特に胃腸弱き人に救ひ
大阪
新藥
オドラミン
結核菌を滅す血液の還元法
一日一球・夜のむと翌朝は大小便が變り 肺肋膜その他結核體は血沈良轉肥り出す
[illegible]

呼吸器をまもれ
增産に…激務に…働く人の健康確保には、呼吸器型ビタミン＝脂溶性榮養の補給が肝要…缺かさずハリバを適用して呼吸器粘膜の防衞力を强化すること。
ハリバ

大本營海軍報道部課長　平出大佐講演

必勝へ大和魂の精髓

大死一番捨身の皇軍

對蹠的米英兵の生命執着

熱辯振ふ平出大佐

【承前】此際第一線を廻つて來た其間に私の感じた點をかいつまんでお話したい、第一に氣付いた點は戰爭に對する心構へが日本と敵性國家人との間に非常な隔たりがある事實である日本では戰爭に對しては如何にして敵を斃さうか、如何にして敵に勝たうかと云ふ點で一致である、之が日本軍人又國民が何よりも大きく考へる問題である、其間に自分の家族がどうなるかとか自分の生活がどうなるかを問題にしない、ただ敵に勝ちさへすればよい、之が日本人の氣持であると信ずる、殊に第一線に働く勇士達は大死一番捨身の戰法を以て何よりも貴重である自分の生命を最も些細なものに考へて勇敢に戰はれてゐるのであつてこの上なく

大和魂を華々しく發揮　してゐる、然し之に反して敵性國家群の軍人について見るに色々の戰場を見て感ずる點は彼等が一番頭を惱ましてゐた問題は自分の生命及び自分の快適なる生活、更に家族の快適なる生活之等が最も大きな彼等の頭を支配してゐた問題である、それが出來ると云ふ見通がつくと次には如何にして防禦をしようか又自分等は負けるに決まつてゐるが其後で日本に利用されない樣にするにはどうしたらよいか最後には……と申したいが仕方ない、之だけで彼等の精神は一致なのである、昭南軍港を視察すると非常によく判る、昭南軍港は十數年前から如何にして世界一の難攻不落の要塞を築くべきかを考へ日本の金に換算して何千億圓と云ふ金をかけて造り上げる筈であつた軍港である、所が占領後を見ると一番力を入れて先に造つたものは何か、それは官舍である、自分達の住む家である、その家には堂々たる冷暖房裝置を備へ自動車々庫を備へ最も贅澤な快樂生活を樂しようと云ふ氣持が十分現はれてゐる、それは飽迄戰つて敵を引受けて戰ふべき要塞である筈の要塞に官舍だけは立派に完成してゐるその次に彼等は或は軍艦を作る或は軍艦を修繕し又は大砲や彈丸を作る事を考へた樣である、併しそれ等は自分達の生活が非常に困らない爲めにはどう云ふ風にすればよいかに過ぎない、次に砲臺を作つた、之も未完成である、十年も前からシンガポールには立派な砲臺があり十八吋乃至二十吋の大きな大砲があると傳へられて世界の常識になつてゐたのであるが現實にはそんなものは一門もない、それ等のものは自分達の生活を守るには少し威が過ぎた、そこで彼等は實際に止めて實物は作らなかつた、立派な官舍等は戰ひに負けて捕虜になつても壞さずに置いてある、その氣持を想像するのに如何にもアメリカなり何處なりから救援が來る、その時は立直つて自分達はもう一度この官舍に住む事になるそれに就いては具合が惡いから官舍は官舍に殘して彼等は勇み立つて捕虜になつて來た、總て其處に歸るべき準備を發見……、之はあながち英兵だけではなく米のヒリッピンに於て或は和蘭の蘭印戰線に於ても殆ど同樣である、ただ彼等の一致してゐる點は外にもある、それは自分の使つてゐた物を敵に使用させない方策である（官舍は別です）この方面にかけては餘程前から研究されてゐたものと考へるがまことに用意周到に戰術を凝して自分が敗けるであらう時に備へた點は事實である、その用意を求めて戰線に行つた、とても半月や一月で出來る戰ではない、恐らく十二月八日から始めたらうと私は思ふ、一例を申すと油田がある、この油田の油の元を出ない樣にするためにセメントを詰めて終ふ又出てもその

油が船に積めない樣に　大きな油管を破壞して終つた、殊に熟練の要かしい川底を通つてゐる管を破した、製油工場に行くと各部の工場が動く原動力になる工場を停めて終つた、その爲めには一番大事な發電機を破したのである、發電機は線繞の巻いてある大切な部分に火藥を結びつけて之を電線で事務所迄何哩でも引いて來ていざと云ふ時に電鈕を打つと同時に各工場のダイナモは破壞され一切の動力は活動を停止し精油工場は動かなくなる、隨分頭を使つたやり方である、こんな事に頭を使ふならその頭を攻勢の方に使つたらどうかと思ふのです、さうしたら或はもう少し彼等の狀況は違つてゐたかも知れない、殊に相手が日本でなければ勝つたかも知れない、がその注意及び努力を全部如何にして壞すかに使つてゐては永久に勝てない、この消極的方法は戰爭に勝たぬ方法で要は負ける時期が少し遲れるだけである、それは取りもなほさず彼等の快適な生活を幾分か永くする爲であつて而も幾らも自分達の生命をのばしそして自分達の生活を樂しむ時間を長くするとはよく〳〵図々しく考へたものだと思ふ、彼等はそれで滿足してゐたのであらうが事實はどうなつたか、そんな消極何のたしにもならず直ぐ占領され捕虜になつて日本に利用されないと思つたものが問もなく日本の完全なる利用の對象となつてゐる事である、敵前上陸が敢行された數時間後には建設部隊が上陸すると云ふ事である、占領油は幾月も經たないのに既にどん〳〵出る樣になつた、來年の三月頃になると以前の通りに復舊するだらうと云ふのが當事者達が異口同音に答へる所である、又その外に今迄日本が非常に不自由してゐたものが幾らもあつた、錫の如き日本では綿花布いて却々手に入らない狀態であつたけれどもこの度發見された方法に依れば非常に良き綿が世界で最もよいと云はれてゐるエジプト綿に次ぐものが出來る目安がついた、又キニーネは日本では餘り有名でないけれども世界の必需品を見ますとキニーネがなければならない土地は實に廣大である、そのキニーネがジヤバ島だけで出來ると云つてよい位世界需要の大部分が此處で出來る、この度今村兵團がジヤバを占領した後に規那の工場を管理してゐる人と會つたがその工場ではこの前の日蘭會商の際一瓦も規那を日本には賣らないと頑張つた事がある、その當時交渉に當つた管理者である同じ人間が立會つて占領する時の態度を禁じたにも拘はらず図々しくも「今度は何瓦日本では要るか」と問いた、交渉に當つた陸軍の參謀は

「今度は何も要らない」　と云つていきなり規那を賣りつけたと云ふ事である、斯くして七百トンの規那は全部こちらで管理する事になつた、現在はどん〳〵規那が出てゐて既に日本の一年分よりもつと多くの規那が日本內地に送り込まれたのである、今年は砂糖も米も南の方では豐作である、日本が何百トン賣つて吳れと賴んでもどうしても賣らないと頑張つた米や砂糖や油が何たる皮肉か今年は特に豐作でそれを自由に日本が取る事が出來るのである

"捕虜條約"を丸暗記

却々拔目ない"捕虜心理"

今迄日本に對して盛に宣傳をしてゐた國の連中が今捕虜となつて到る處に溢れてゐる、一番大きな塊りは昭南の九萬人とか或は五萬人とかまとまつてゐる、この連中の心理を眺めて見る事は興味深いものがある、彼等は一應は誑ひます、然しこの邊でもう負けると云ふ事が判然とわかると餘り力を出さなくなる、けれども直ぐに降參すると本國政府から叱かられる、そこで叱かられない樣に宣傳工作をする、彼等の偉大なる宣傳は自分達が降參してもよいと云ふ狀態を

本國政府に判るやう　にする事で水が缺乏して來たとか、もう彈丸がない、負傷者が多くなつた、戰死者が續出してゐると云ふ狀況を本國に訴へる、所が本國政府でも却々苦しい所でこの邊で降參しろと云ふ命令を出さないので彼等も可成り苦しい所迄頑張らなければならない事になる、この頑張力が隨分感心する所迄行つてゐる、之以上いかんと云ふ時になると彼等は降參を申出る、そしてホッとする、このホッとする氣持は一之で日本兵のために殺されない事になつたと云ふ感じだらうと思ふ、その次に彼等は何とかして使つて貰ひたいと思ふのである、何もせずに知らぬ顏をして默つて居られると氣味が惡い、惡い事をして叱かられないでゐると氣持が惡い事は我々子供の時に承知してゐる、あつさり叱られて終ふと後の氣持がよいのと同じ理で彼等は何か仕事に使はれたら殺される事は先づないだらうと思つてゐる、彼等の大事な問題は生命がある事である、生命がなくなると實に具合が惡い、そこで「之なら生命がなくならない」と彼等を安心させる、捕虜になつた事が彼等をホッとした氣持にするのである、

今迄なかつた恐怖から先づ安全な施設に歸る、捕虜なら殺されないと確信してゐるが所が彼等が何もしないでゐて氣味惡がるのは日本が國際捕虜條約に入つてゐないからである、日本の軍人はどうにもならなくなつても最後の手段を知つてゐる、日本の海鷲航空部隊の勇士はピストルを持つて戰鬪に出掛けるが如何にピストルを撃つた場合でも最後の一彈だけは決して射ち盡してはならない事を戒められてゐる、最後の一彈之は自分の頭に射ち込む爲であるからおめ〳〵と捕虜になる者は先づない、人事不省になつてゐる所を捕まつて目が覺めて見たら捕虜になつてゐたと云ふ時には最後の一彈を使ふ、或は切腹をすると云ふ事もある、先づ捕虜條約と云ふものは日本には必要ない、それが彼等としては非常に氣味が惡い、自分達の國の間ではお互ひに國際捕虜條約があるから捕虜になれば殺されないと安心出來るが日本は入つてゐないから心配だ、この國際間の捕虜條約があるかどうかを知つてゐる者は少い、先づ無からうと思ふ、所が敵性國家の軍人の一番詳しい條約は捕虜條約である、生命に係はる問題であるから非常に詳しく暗記してゐる、そこで折角日本の捕虜にはなつたがそんな譯で不安なので自分が日本に好意を持つて敵性を持たぬ事を態度に現はさうとする、先づ手近に彼等の考へる事はニコ〳〵する事である、日本人さへ見ればニコ〳〵してゐる、之は敵性を持たぬしるしである、そこ迄行かぬ奴はニヤ〳〵する、先づ日本に殺らかな好意を持つてゐるらしいと云ふ事になる、

好意さへ持たれて居れば　殺されないだらうと云ふ譯で安心する、第二は非常に彼等の得意である服を付けさす、日本人が行くと直ぐ不動の姿勢をして武器を持つて居ない事を示す、その爲めに敬禮をする、敬禮は武器のない事を相手に知らせるものでヨーロッパの敬禮としてはまことに理窟に合つた敬禮である、日本人同士ではお辭儀をする事が敬禮であるが之を教へると今度はお辭儀をする、もう少し知識が進むと最敬禮をする、捕虜の前では日本人は實にえらくなつたと云ふ感じがする、今迄威張つてゐた米英人が土下座をせんばかりの最敬禮をすると決して嫌な氣持はしない、そこで之を殺さうと云ふ氣には先づなれん、まことに理路整然としてゐる、之が捕虜の心理である、セレベスの俘虜收容所に參つた時に六百數十名の俘虜がゐたが一人の水兵が番をしてゐた、私共が參るとピーッとパイプを鳴らし一と號令な言葉を云ふが、その言葉は知らない筈だが彼等は一致した訓練ある行動をとつた、私は感心し乍ら質問すると其の水兵の曰く　彼等は何も解らないが私の部下であるインドネシア人巡査が居て之に鞭を持たせて若し少しでも從はぬ者があると容赦なく鞭をあてる、和蘭人から水牛の樣に酷使されてゐたインドネシア人であるから吼いてもよいと云ふ事になるとどんな嬉しい事はないと喜んで吼く、表向き命令通りしなかつたとなるとビシビシ鞭をあてる、吼かれるよりは云はれる通りにした方が樂なので動く樣になつたと云ふ捕虜の前を通つて見ると非常に敬禮をしたらしい厚い近眼鏡をかけた學者の樣な人も居る、中には非常に長い髭を生やしていかにも堂々たる者も居る、之等が並んで最敬禮をしたがまことに氣持がよい、彼等は今迄非常に威張つた氣持で自分の思ふ儘にインドネシア人をこき使ひ苛歛誅求を極度にやつてゐたものだが今日あの樣な態度に出て奴隷の如く使はれたインドネシア人に行動を是正されてゐるのを見ると惡事は露たなければならないとつく〳〵思ふのである、彼等は仕事を與へてやらないと不安がるので仕事を與へるがその仕事と云ふのは廢鐵を集める事だ、日本では廢鐵が餘りないので街を步く鐵や釘迄拾出せと云ふ時代ですがその廢鐵を數萬トン一個所に集積させて居る、捕虜の仕事としては最も適當な良い仕事で彼等は百數十度の炎天で孜々として廢鐵を集めてゐる、その

仕事振りを見てゐるのも　之又味なものである、作業は却々容易な事ではなからうと思ふが厚い近眼鏡をかけて今迄は實驗室で顯微鏡を持つてゐた樣な者が長い鐵道を持たされて今から嫁付け樣とする棉畑を耕してゐる捕虜の着てゐるのはビジヤマである、之は寢室でしか着ないものだが彼等は平氣でやつてゐる、向ふではマラリアとかデング熱と云ふ惡性の病氣がありその媒介は蚊であるので寢る時は足の先迄包み込む事の出來るビジヤマが良いと云ふので工夫したに違ひないが相當威張つてゐた彼等がビジヤマを着て日本で足らない綿を補充として畑を耕してゐる光景を御想像願ひたい（つゞく）

本間最高指揮官へ

モロ族の名刀二口を贈呈

【マニラ十三日發同盟】比島代表士ラモン・ラソールは十三日午後一時スルー群島のモロ族を代表して最高指揮官本間雅晴中將を訪問、銀色燦然たるモロの名刀クリス二口を贈呈して日本軍の勝利を慶祝し協力の誠意を披瀝した、この名刀はいづれもスペイン、オランダ並に英米に對するモロ族の勇敢な反抗精神を象徴するもので一つは一九〇四年モロの猛將パツサキンがアメリカのスコット將軍と戰つて敵の右手三指を切り落したといはれる、その後スルー群島の領主たる子だるラソールに傳はつたもので、他の一つは一九一二年パーシング大將の率ゐるアメリカ軍に反抗して戰死したモロ族の領長サヒベが米軍を相手に三日間激戰を續けた際に使用したものでいづれも勇猛なモロ族の英米に對する熱烈な敵愾精神を物語るものである

安藤軍司令官

初巡視終へきのふ歸北

安藤軍司令官は初巡視を兼ねて南部軍事狀況視察のため臺中、臺南、高雄方面を巡視中のところ日程を終へ十三日午後五時十五分臺北驛着列車で歸北した

比島派遣軍で　あす合同慰靈祭

【マニラ十四日發同盟】比島派遣軍では來る十五日午前十時十分から陸軍軍樂部前廣場ルネタ公園において比島攻略に散つた英靈を慰むべく合同慰靈祭を執行する

奥貫拓務省商工課長新竹へ

【新竹電話】拓務省より視察官として來臺中の拓務省奥貫商工課長は十四日午前十時新竹着列車で來竹、州廳を訪問後ガス研究所有機合成研究所その他の工場を夫々視察午後二時五十七分發で南下した

新竹市鄉軍後援會の內容強化

名稱も帝國在鄉軍人會新竹市聯合分會後援會と改稱

【新竹電話】新竹市本島人有志を以て組織されてゐる鄉軍後援會は十五日午後一時二十分より有樂館に於て第二回定時總會を開催するが先般都下鄉軍の擴充、改組により市に聯合分會も組織されたので同會もこれに伴つて帝國在鄉軍人會新竹市聯合分會後援會と名稱を改め志願兵制度實施にも隨應して今後一層內容の充實強化に努め所期目的の達成に邁進貢獻する事になつてゐる

撓まぬ愛國の至情

現地臺北州隊員から　國防費第二回分送金

勞務奉公團

物と人を擧げて決戰の大東亞戰爭に皇軍の一翼となり南進、南方戰線に勇躍參加、かねて本島に於て錬成された臺北州勞務奉公團の南方派遣隊員は目下比島戰線に於て孜々として勇敢な勞務に挺身中であるが、武運長久を祈りつつ我が臺北州勞務奉公團派遣隊長田尻禁吾氏指揮下に目下比島戰線に於て大詔を奉戴して本隊は一意のため武夫の氣を吐いてゐるが、更に一同は過般來より現地に於て受領する給與の一部を割き先般にも國防獻金として第一回分五百六十四圓を中隊を通じて送つたので既報の如く同課では直ちに獻金の手續をとり、撓まぬ愛國の至情に感激したが此程第二回分として五百六十四圓を同課國防獻金にと手續を依賴して來たので同課では重なる隊員一同の至情に感激、直ちに二百八十圓宛夫々陸海軍に獻金の手續をとつた

南方の代表者顔觸れ決る

十七日　南方共榮圈青少年大會

南方共榮圈占領地區の若人の熱と力を結集する南方共榮圈青少年大會は來る十七日臺北で盛大に擧行されるがこれに列席する府文教局並に外事部の肝入りで南方共榮圈青少年大會に出席する南方の青少年代表者の顔觸は左記の如く泰國一、比律賓二、ジヤバ二、安南二、馬來四、廣東十七、計二十六名（內女子八名）と決定した、尚當日意見發表者はスポット・インカニナン（泰）ソテロ・イノセンシオ（比）アベール・ハッサン（爪）ドカイホン（安南）林秀指（廣東）の五君である

（泰）キ・ニット・シリセーン（男）臺北第一師範（練習生）、（泰）スポット・インカニナン（男）臺北工業試驗所（練習生）、（比律賓）シスター・イノセンシオゴンザリー（女）靜修女學院、（比律賓）ソテロ・イノセンシオ（男）專賣局、（ジヤバ）ラーデン・イラワンラチブ（男）共榮會、（ジヤバ）アミール・ハッサン（男）情報課、（安南）李志成（男）南方協會、（安南）ドカイホン（男）情報課、（廣東）林秀指（男）同臺北帝大附屬醫專（學生）、（廣東）崔雄通（男）、（廣東）[illegible]（男）共榮會（留學生）、（廣東）[illegible]（女）共榮會（留學生）、（廣東）[illegible]（男）共榮會（留學生）、（廣東）[illegible]（女）共榮會、（廣東）[illegible]（男）共榮會（留學生）、（廣東）[illegible]（男）共榮會（留學生）

住所異動遺族　現住所知らせ

鎮座祭の案內狀送達不能

臺灣護國神社

臺灣護國神社鎮座祭は來る二十二日執行されるが左記遺族の住所異動により案內狀送達不可能となつてゐるから本人又は知人は直ちに府文教局社會課（三三二番）に通報されたき旨要望してゐる

臺上郡八功七番地永原彭瑞昌、馬公街馬公、永井トキ子、臺上高山正直、臺北市佐久間町三ノ八高山春代、臺北、彰化市彰化字北門外二四五和田晋吉、臺上郡八功七五元天臺、臺北市本町二ノ一土居貞夫、臺北市大和町二ノ二星野ハツ、[illegible]

新竹市の優良兒表彰式擧行

けふ市會議室で

【新竹電話】新竹州では豫て州下各市郡に於て夫々優良兒審査會を開催した處州下より選拔された八十四名の中から二十名を總督府に推薦する事に決定した、その內十三名は新竹市で同市では之に對する表彰式を十四日午前十時から市會議室で擧行した

大相撲夏場所

六日目取組

【東京電話】夏場所六日目取組

[illegible]

武勳拔群　梁瀨親鷲部隊長

○○部隊長から初の賞狀授與

【比島前線○○十四日發同盟】バターン半島攻略開始以來赫々たる武勳を樹て○○部隊長から初の賞狀を授與された譽れの荒鷲部隊長がある、三月六日のリマイ飛行場爆擊の壯擧を行つた○○部隊長梁瀨親吾（長崎縣南松浦郡魚目村出身）氏がその人で同部隊長はバターン半島攻略戰が開始されると同時に○○部隊の指揮下に入り或ひは飛行場を攻擊して殘存敵機を擊滅し或ひは敵第一線陣地、重砲兵、高射砲陣地等を擊碎するなど常に○○部隊攻擊力の中核として一日たりともその攻擊を休めることなく敵軍を屈伏せしめたが特に○○部隊の戰鬪に於て自ら陣頭を率ゐて出動、敵戰鬪機と交戰に右大腿部貫通銃創を負つたが、マリベレス山地攻略に當つては連日全力を擧げて猛攻を反復、遂にナチブ要塞陣地の堅陣を擊碎した、また四月七日以來○○部隊の轉進に際しては連夜出動して空地一體化の實を擧げたがその間同部隊長は常に積極的に任務を遂行し率先陣頭に立つて空中指揮に當りその武勳は拔群とされたものである

眞山氏藝術院會員に推薦

【東京電話】帝國藝術院では第一部文藝會員故井上通泰氏の後任としてわが劇壇の長老眞山青果氏を推薦することに決定し十三日文部省から發表された

推薦理由　明治四十年代わが自然主義文學の最盛期に文壇にデビューして以來新派劇脚本の制作に從事戯作者としての苦澁の間によく自己の世界を開拓して雌伏十餘年戯曲「玄朴と長英」「平將門」等の名作を世に送り劇作界に確固たる位置を築き上げた、爾來不斷の精進は年と共に一作また一作を發表しその作品は深刻なる自己批判と熾烈なる自己意識を盛り上げたものであつた、その素材の精密、彫琢なる台詞はその題目の道義的なると相俟ち藝術院會員としての資格を備へ得るものであらう、老來益々精進し最近の傑作としては「元祿忠臣藏」が代表的作品でありその累年に亙る「井原西鶴」「江戸地誌」の研究には隱れたる令名がある

眞山氏略歷　明治十一年九月一日仙臺市に敎育家を父に生る、本名彬、仙臺中學、東京日本中學を經て明治三十年第二高等學校醫學部に入學したが三年にして退學以來藥局生、代診等の業に從事しつゝ文學への熱望やみ難く明治三十七年退職再び上京後小栗風葉の門下生となり、大正三年以來松竹に入り戯曲著作に從事し今日に至る

皇奉訓練所開所式　今夜擧行

皇民奉公會臺北市支會では十四日午後八時より臺北市公會堂に於て本年初ての皇民奉公會訓練所開所式を擧行するが入所生は午後七時迄に集合する樣希望してゐる、因みに今回の入所生は應募者百二十名中より銓衡した推進力たるべき青年百名で期間は六月末日迄である

蘭陽地方第二種防訓

けさから眞摯な訓練展開

【宜蘭電話】宜蘭地方區時第二種防空訓練は十四日午前九時一市二郡の發令部から夫々警報發令があり官民防衛隊、警察官、消防隊、防火群、交通機關等直ちに敢然と眞摯な訓練が展開された、知事は以下と共に市內各所で行はれた防空訓練の訓練狀況を視察した、州からは午後一時十六分宜蘭着列車で大山地方課長、奥田警察課長等が來宜、市內の訓練狀況視察後羅東方面の視察に向つた

記錄に！
慰問に！
報道に！
さくらフヰルム

けふの放送

▲六・〇〇少國民の時間「シンプソン」少國民講座「山田長政の子オイン」（二）一臺北局員鏡▲六・二〇大相撲夏場所實況（五日目）（東京）▲六・三五戰時と科學（其の一）（臺北）「爆發彈と日本家屋」▲六・五〇時報▲七・〇〇ニュース▲七・三〇全島常會の時間（臺北）[illegible]▲八・〇〇[illegible]▲九・〇〇ニュース[illegible]▲九・五九時報▲一〇・〇〇今日の戰況とニュース

三國志

(762)

（赤壁の卷）

吉川英治作

矢野橋村畫

蘆々細腰の劍（三）

追手の大將四人は、空しく夫人の車を見送つてしまつた。この時も雷雲は、一手の飛兵を持つて、最後まで四人の前に屯集してゐたので、手出しはおろか、私語する間隙もなかつたのである。

「殘念だな」

「だが、あの女丈夫には、何とも敵はん」

是非なく、四人は道を回した。そして十數里も來た頃である。一彪の飛馬と、燦爛たる大將が、彼方から來て呼びかけた。

「玄德の行方は如何に」

「夫人はどこにをらるるか」

見れば、吳の周瑜。またもう一人は周泰である。

面目なげに陳武が云つた。

「だめです……どうも」

「何がためだ？」

「追ひついて捕へんとしましたが

夫人が云ふには、母公のおゆるしをうけて城を出たのだから、母公の仰せつけでなければ歸らぬと仰せられますし」

「何の。口弱者な。な、なぜ云はぬ。こちらは吳侯の嚴命であると」

「吳侯はわが兄。兄妹の間の事を臣下の分際で、何を差出がましく云ふぞとのみ、お耳にかけるふうもありません」

「えい、そんな事で、何うして追手の任が果せるか。かくなる上は玄德も、また主君の御妹たりとも首にしてしまふ迄の事。見よ。この通り、假借すなとて、主君孫權には、お手づから我等に劍をおあづけになつた！」

「やつ。御劍ですか」

「知れたこと。――思ふに玄德の一行は大半が徒步武者、馬を飛ばせば、ふたたび瞬く間に追ひつかう。徐盛、丁奉のふたりは、早々先へ驅け越つて、鄱陽都督にこの由を告げ、水上より早舟を下して江岸江上を塞がれい。われら四人は、陸路を追ひ詰、かならず柴桑の附近に於て奴等を悉く網中の魚とするであらう」

飛々と追ふ。かういふ危險な際の中を、玄德と夫人の車は、なほ逃げ落ちられる所まではと、ただ一念、一道をひた走りに急いでゐた。

いつか、柴桑の城市を遠く後に見、その郊外を遠く迂回して、また道は江に沿つて來た。そして劉郎浦とよぶ一漁村まで辿りついた。

「船はないか」

「船は？　船は？」

玄德も趙雲も、ここへ來ては、はたとそれに窮迫した。

漁村らしいのに、どうしたのか船は一つも見當らない。のみならず、一方は渺々たる江水天に連り、前は自然の渚口をなして、遠く彼方の遙い山際まで續き、いづれへ渡るにも、舟便に依らなければもう何つ方へも進めない地形だつた。

「趙雲、趙雲」

「はい。御主君……」

「ついに虎口に落ちた最後へ來たな」

「いや、まだ御失望は早過ぎます。今、例の錦の囊の最後の一つを開いてみましよう」

と。――趙雲は錦の囊を開いてみました。すると、

追フモ應ヒ悔ム勿レ、[illegible]テ一舟ニ寄セン……

そんな文があらはれました。察するところ孔明には必ず何か宜しき謀があるにちがひありません。まづまづ餘り御案じなさいますな」

趙雲はなぐさめた然し玄德は默然と灰色の空や水を見まはして車のうちの夫人にものも云へず暗然と佇んでゐるだけだつた。――すると忽ち山隈のあたりの夕靄がむく〳〵と動き鼓の響や鋼鐵が水に響いた。云ふまでもなく孫權に包囲を許つた追手の大軍だつた。

「おお。如何にせむ」

玄德は身を挺んだ。

夫人も今はと覺悟して、車のうちから飛び降りる。

「すは！」と近づく喊の聲、はや矢ばしりの響き。玄德の少い手勢は、すでに色を失つて四方へ逃げかけた。

すると、忽ち、鄱陽湖の汀、數里に亘る蘆荻が、いちどにザザザと搖き立つた。見れば、兩や蘆のあひだから帆を立て、棹を押出した二十餘艘の快足船がある。たちまち岸へ滑き寄せるや否、

「乘り給へ。早く早く」

「皇叔。いざ疾く」

と、手を打振つて口々に呼ぶ。その中に、いま舟底から遊び出して、共々呼んでゐた道服の一人物があつた。一目でそれと知れる頭の綸巾。すなはち、諸葛孔明だつた。

一歩進んだ簡易裁斷の
洋裁が自宅で習へる
（中野善美女史）[illegible]

腸を一週一回は清めると丈夫！
下痢・胃腸病・腹部膨滿・口臭・[illegible]
ホシチヤコール
淨化　整腸
[illegible]
「ホシチヤコール」は[illegible]
東京　五反田　星製藥株式會社
三〇瓦　五〇瓦　一圓

愛國歌
志願兵の妻
唄・小笠原美都子
臺灣總督府情報課・推薦
六百萬島民待望の志願兵制度實施！この歌を唄つて本島女性の心意氣と眞情を示さう!!
大好評!!
懷かしの台灣
テイチクレコード

南京虫。根絶に藥。ビンゾン
このマークに御注意！
KNK
類似品多し
京都農藥研究所

女性ホルモン
…作用強力にして而も緩和・持續的なる新エステル型合成劑！
オイベスチン錠
武田新發賣品
★女子生理の不調、更年期障碍、頭痛、腰痛、四肢冷感、眩暈、乳汁分泌不足等に
オイベスチン錠

專賣特許　菊精
ライオン渦巻

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

貴院各派代表連絡委員設置

【東京發同盟】新政治力結集に際し貴族院は各個人が個人資格で參加し各派は社交團體として現狀のまゝ存置することとなつてゐるので新團體との緊密なる連絡を期する一方、議會運營上にも一致の實を擧げるため各派代表よりなる連絡委員を設け萬遺漏なき態勢を整へる意向である

建國十周年を御慶祝
高松宮殿下を御差遣
滿國皇帝陛下に御祝意

【宮內省發表】本年滿洲國建國十周年につき同國皇帝陛下に對し祝意を表せられんがため宣仁親王殿下を同國へ差遣はさるる旨去る四月二十日御沙汰あらせられ近く御渡滿の御豫定なり

高松宮殿下に隨行申上ぐる諸員は左の如く仰せつけられた旨十四日發表された

式部長官子爵　松平康民
陸軍中將　黒田重德
外務省東亞局長　山本熊一
式部官伯爵　坊城俊良
海軍少將　金子繁治
對滿事務局事務官　吉田碩二
陸軍中佐　小島[illegible]
皇族附武官　神田武夫
宮內事務官　吉島六一郎
外務事務官　小澤武夫
式部官子爵　京極高光

（御寫眞は高松宮殿下）

【東京發同盟】畏くも天皇陛下には盟邦滿洲國が大東亞戰下意義深く迎へた輝く建國十周年を殊の外御慶祝遊ばされさきに特派大使の來訪に際しては殊の外御滿悦あらせられて皇室の賓客として御歡待あらせられたがこの度皇帝陛下に親しく御祝意を表せしめられるため特に皇弟にまします高松宮宣仁親王殿下を近く同國に御差遣あらせられる旨去る四月廿日御沙汰あらせられ十四日午後三時宮內省から左の如く發表されたが滿洲國帝室の彌榮、若き盟邦の輝かしい發展を御祝福あらせ給ふわが皇室と八紘爲宇の皇道を基幹とせられ日滿一德一心

天皇陛下の大御心を御心とせられる

皇帝陛下の御聖德彌々御親密に亙らせられるを拜し奉り日滿兩國民齊しく恐懼し奉る次第である

兩皇室御睦び彌深く
國民齊しく恐懼感激

【東京發同盟】滿洲國は本年光輝ある建國十周年を迎へさきに張國務總理が謝恩特派大使として皇帝陛下の御旨を體して來朝したが畏くも天皇陛下には榮ある滿洲國建國十周年の佳年を殊の外に御慶祝あらせられこの度び高松宮殿下を同國に御差遣あらせられる旨御沙汰あらせられたが、日滿兩皇室の御睦び彌深きを加へさせらるるは兩國民の齊しく恐懼感激し奉るところである、さきに秩父宮殿下には帝國陸軍の昭和九年六月御名代宮として御渡滿の御使命を果させられ日滿兩國の親善を益々深からしめられ翌十年四月皇帝陛下には御答禮の御ため海路遙々御來訪、畏くも天皇陛下には親しく東京驛頭にならせられ皇帝陛下を御出迎へ遊ばされ驛頭にて固き御握手を交させられた

天皇、皇后兩陛下は皇帝陛下と宮中で公式御會見あらせられ引續き御饗宴を催させられ睦々御歡談あらせられ交歡あらせられ

天皇陛下の御歡待の御言葉に對し皇帝陛下には「東亞永久の平和を保ち世界人類の幸福を齎すべく同心協力致さねばなりません」と御答禮の御言葉を述べさせられたのであつた、また皇太后陛下の皇帝陛下に對する御慈しみは格別であらせられた御由にて皇帝陛下には天皇陛下を御兄君のごとく皇太后陛下を御母君のごとく慕はせられ御親交は愈々深く亙らせ給ふと承はる、ついでわが皇紀二千六百年に際しては六月再び御來訪皇室の彌榮を御慶祝あらせられたが、その御砌天照大神を御奉齋新京に建國神廟を御創建あらせられ帝國の皇道の隆興に努め給ひてここに日滿一德一心の實を萬民にも示させ給うたが皇室と帝室の御親交愈々深く亙らせ給ふは畏き極みである

皇帝陛下には帝國發明協會、日本美術協會等の總裁として各方面に重き御使命を果させられてゐるが、また愛國婦人會或ひは農漁村の厚生資金等に年々多額の御下賜金遊ばされ、御來訪の御砌には內原滿蒙開拓靑少年義勇軍訓練所を始め各地の產業、軍人援護、文化、社會事業等各般の御視察を遊ばされ、ことに御仁慈深く渡らせ給ふのである

接伴委員も決定
滿國宮內府の發表

【新京十四日發同盟】五月十四日午後三時宮內府發表

大日本帝國天皇陛下におかせられては我が國建國十周年に方り皇帝陛下に對し御祝意を表せられんがため今般高松宮宣仁親王殿下を御差遣遊ばされる事となり近く御來滿の御豫定にあらせらるるところ皇帝陛下におかせられては殿下御滯在中帝室の賓客として御迎へ遊ばさるる旨本日御沙汰あらせられたり

接伴委員は五月十四日附左の通り任命せられたり

接伴委員長　參議府議長臧式毅、宮內府大臣[illegible]、軍事參議[illegible]、宮內府總務[illegible]、外交部次長[illegible]、宮內府[illegible]

御再度の御渡滿
兩國親善に御努力

【東京發同盟】此たび重き御使命を帶ぜられ御渡滿あらせられる高松宮殿下には大東亞戰下軍務に御多端に渉らせられ、只管御精勵遊ばされてゐるが、殿下には大正十三年兵學校御卒業、同十四年海軍少尉に御任官、昭和十年少佐、同十五年十一月中佐に御進級、その間高雄、扶桑に御乘組、また海軍大學校甲種學生として高等戰術を御研鑽遊ばされたが、同十二年軍令部部員、大本營海軍參謀、同十五年七月比叡砲術長として[illegible]同十六年十一月再び軍令部部員、大本營參謀となられた、[illegible]聖戰下赫々たる御武勳に對し去る三月功四級金鵄勳章を賜はつてゐる　殿下には　滿洲國皇帝陛下とは旣に再三御會見あらせられたが、皇紀二千六百年の六月には　皇帝陛下御來訪の直前[illegible]滿洲各地を御巡遊あらせられ、皇帝陛下御還幸の二日前六月二十四日御歸朝、[illegible]かくて御滯京中は終始[illegible]また今春謝恩特派大使の來訪に際しても一行を宮殿に召される等日滿親善に努めさせられたこと一方ならず、[illegible]心を注がせ給ふと承る、殿下には日伊協會、日土協會、國際文化振興會、[illegible]

張總理大臣謹話

【新京十四日發同盟】張國務總理大臣謹話、わが國建國十周年に當り畏くも大日本帝國天皇陛下におかせられては　皇帝陛下に御祝を表し給ふ思召をもつて　高松宮宣仁親王殿下を御差遣遊ばさるる旨承り大御心の有難さに恐懼措く能はざる次第でありまして四千三百萬の國民と共に感激を竭して奉謝申し上げたいと存じます、わが國今日の隆昌の依つて來るところを深く考へ大御心の有難さに思ひを致す時一德一心の大義を愈々奉體し、盟邦日本を中心とする大東亞建設に向つて一層努力邁進すべき覺悟を新にする次第であります

捕虜一萬二千、鹵獲品莫大
コ島、マニラ灣攻略の戰果發表

【マニラ十四日發同盟】五月五日火蓋を切つたコレヒドール島並びにマニラ灣要塞攻略戰の戰果につき比島派遣軍當局では十四日左の如く發表した

比島派遣軍發表　五月十二日までに判明せるもの、敵兵力一萬四千、敵遺棄死體約七百、捕虜一萬二千（內米兵○○）鹵獲品の主なるもの十四吋砲八、十二吋砲四十三、十吋砲加農砲[illegible]、[illegible]

[illegible]ただ食糧はただ六ケ月を支へ得るものありこれにより敵は頑強なる[illegible]

コレヒドール占領第一報　サンホセ軍港岬占領、萬歳を叫ぶ皇軍勇士

初の個人感狀

ビルマに拔群の戰功
畏し感狀天聽に達す
大平偵察飛行中隊長の光榮

【東京發同盟】陸軍省發表（五月十四日午後四時）ビルマ進攻以來偵察飛行中隊長として常に先頭に立ち以て同方面作戰に偉大なる貢獻をなし二月二十二日シッタン河上空に於て壯烈なる戰死を遂げたる陸軍大尉大平忠夫氏の拔群なる武功に對しビルマ方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

【東京發同盟】陸軍當初よりビルマ方面陸軍偵察飛行中隊長として[illegible]特にラングーン攻略に當つては終始地上部隊の耳目となり、作戰指導上重要資料を提供、去る二月二十二日シッタン河附近で華と散つた故大平忠夫大尉の血の滲む活躍はビルマ方面進攻部隊と作戰の際にあつて常に重要なる情況判斷を與へたものとして三月十日ビルマ方面陸軍航空部隊最高指揮官より大東亞戰下初の個人感狀が授與された、この故同大尉の拔群の戰功は畏くも天聽に達せられた旨十四日午後四時陸軍省より發表された

感狀

偵察飛行中隊長　大平忠夫

右は偵察飛行中隊長としてビルマ作戰開始以來常に自ら進みて難局に當り長驅天候氣象の險惡を克服し且つ優勢なる敵戰鬪機の跳梁下をラングーン附近を始め全ビルマに亙り敵航空狀況を具さに偵察し適時適切なる情報を齎らし航空部隊の航空擊滅戰指導に偉大なる貢獻をなし又モールメイン攻略戰及びシッタン河に向ふ作戰に當りては偵察困難なる地上軍後退の狀況を明らかにし地上兵團の指揮運營に任ずると共に密に爆擊隊に連絡してその攻擊を容易ならしめ以て軍の作戰に寄與せること頗る甚大なり、特に二月廿二日飯田兵團のシッタン河に向ふ追擊に當りては敵戰鬪機の跳梁下然も熾烈なる敵地上火力を冒し率先自ら偵察機を驅り超低空を以てよく敵の退却方向を偵知し軍の作戰指導を容易ならしめたるが遂に敵彈を受け壯烈なる戰死を遂ぐるに至れり、以上の行動は終始旺盛なる責任觀念と率先躬行の氣慨とを以て不屈不撓よく勇戰奮鬪し自己の任務を完遂したるものにしてその武功は拔群なり依つて茲に感狀を授與す

昭和十七年三月十日

ビルマ方面陸軍航空部隊最高指揮官

大平大尉の報告でラングーンを攻略
佐藤正一少將は語る

【東京發同盟】ビルマ戰線ラングーン攻略に多大の殊勳を建て遂に華と散つた大平忠夫大尉、（和歌山縣新宮市出身）に對し別項の如く感狀を授與されその偉勳は畏くも上聞に達したが同大尉の殊勳の概要をこの程戰線から歸還した佐藤正一少將は次の如く語つた

大平大尉は偵察隊の中隊長として非常に優秀な人で戰鬪の[illegible]ビルマ方面の作戰に參加してゐた同大尉の部隊に[illegible]

困難　[illegible]大尉はろくな道路もない[illegible]のであつた、[illegible]

寒い　寒いといふのである[illegible]

重要　[illegible]特に大平大尉は「今度は[illegible]」といふ意見で[illegible]「大丈夫自信がある」といつて[illegible]

進擊　[illegible]ラングーンを攻略し[illegible]「大いにやらう」「しつかり頼むぞ」と元氣をつけて別れたのだがそれが最後の別れになつたとは殘念でたまらぬ

陸軍司政官に木村氏

【東京發同盟】陸軍司政官（二）元地方事務官　木村强　[illegible]

定例次官會議

【東京發同盟】十四日の定例次官會議は午前八時[illegible]

內務辭令

[illegible]

人事

[illegible]

改正海運統制令、同施行規則
本日公布施行

【東京發同盟】大東亞戰爭を完遂のため海上輸送力の擴充強化を圖ることとなり政府はさきに戰時海運管理令を公布して現存船舶の一元的配船機構を確立すると共に來るべき戰時議會には計畫造船實施確保の法案を提出することとなつたが、戰時海運體制の強化のためにはこれに並行して海運關係諸事業の整備、統合を行ひ船舶の擴充と運行の合理化を圖ることが要請されるので十五日の官報をもつて改正海運統制令及び同施行規則を公布即日施行することとなつた、同勅令は國家總動員法により左の權限を新たに逓信大臣に付與することとなる、改正海運統制令の要旨左のごとし

一、海運關係事業者に對して設備物資又は權利の讓渡又は使用收益の命令をなし得ること（第三條）
二、海運關係事業者に對して設備又は權利の出資の命令をなし得ること（第五條）
三、海運關係事業者に對して物資の使用消費若くは保有に關する命令をなし得ることと共に物資の讓渡使用消費保有などを制限又は禁止をなし得ること（第六條）
四、海運關係事業者に對して船舶などの讓渡又は貸渡等の命令をなし得ること（第七條）
五、海運關係事業者に對して事業の委託共同共營のみならず會社の合併の命令をもなし得ること（第十五條）
六、海運關係事業者に對して事業の廢止又は休止の命令をなし得ること（第十八條）
七、海運關係事業者等に對して船舶の價格などの設定又は變更の命令をなし得ること（第二十二條）

擧國政治力結集體成る
"翼贊政治會"と名稱
宣言綱領規約決定
總裁に阿部信行大將

【東京發同盟】翼贊政治結集準備會は十四日午後二時より大東亞會館に於て第二回總會を開催、去る八日以來の特別委員會に於て審議檢討中の新政治力結集體の名稱、宣言、綱領、規約の各案を附議し、後藤特別委員長より委員會の審議經過を報告、審議の結果、會名を「翼贊政治會」と決定し次で宣言、綱領、規約を原案の如く夫々決定、斯くて擧國政治力結集體は翼贊政治會として發足することとなり新組織の大綱を決定し、次で小倉座長より新組織の總裁として阿部信行大將を推薦したい旨を諮り滿場異議なくこれを決定、小倉座長は準備會總會並に特別委員會の經過を東條首相に報告する旨を述べ五時散會した

【東京發同盟】翼贊政治會の綱領、規約並に宣言左の如し

綱領

一、國體の本義に基き擧國的政治力を結集し以て大東亞戰爭完遂に邁進せんことを期す
一、憲法の條章に恪遵し翼贊議會の確立を期す
一、大政翼贊會と緊密なる連繫を保ち相協力して大政翼贊運動の徹底を期す
一、大東亞共榮圈を確立して世界新秩序の建設を期す

規約

第一條　本會は翼贊政治會と稱す
第二條　本會は國體の本義に基き擧國的政治力を結集し翼贊政治體制の確立を圖り以て大東亞戰爭完遂の實を擧ぐるを目的とす
第三條　本會に總裁を置く、總裁は會務を統理す、總裁は總會に於て推薦す
第四條　本會に顧問若干名を置く、顧問は總裁之を委囑す
第五條　本會に總務若干名を置く、總務は總裁を輔佐し會務を處理す、總務は總裁之を指名し任期は一年とす
第六條　本會に事務局を置く、事務局の構成は別に之を定む
第七條　總裁に於て必要と認むる時は特に他の機關を設くることを得
第八條　本會は毎年一回通常總會を開く、總會には本會の役員、帝國議會の議員たる會員及び總裁の指名したる會員出席す
第九條　帝國議會開會中は院內總務を置くことを得、院內總務の構成は別に之を定む
第十條　本會の經費は會費及び寄附金を以て支辨す
第十一條　本會に會計監督若干名を置く、總裁之を指名し任期は一年とす
第十二條　會員の加入は總務會の議を經べし
第十三條　本會會員にして本會の主旨に反し其の他不都合の行爲ありたる者は總務會の議を經て之を除名す
第十四條　本規約に定むるものの外必要なる事項は總裁之を定む

宣言要旨

東亞の安定を確保し以て世界の平和に寄與するは[illegible]大詔に昭示し給ふ所[illegible]

大東亞戰爭感謝貯蓄
第三回戰時
賣出六月一日―十日
貯蓄債券
報國債券
大藏省　遞信省　日本勸業銀行

販賣店募集
黄金網（金網代用）
防彈爆風除網（窓用）
迷彩僞裝防空用養鶏養兎運動場用ネット、倉舍壁下地ラス庭園、棚垣根用
本社　興亞化學產業株式會社
工場（防空資材部）山梨縣中央線大月驛引込線

中央公論社新刊
東京市麹町區丸ノ内丸ビル五階　振替東京三四番
近日發賣
外政家としての大久保利通　清澤洌著
學術の日本　國民學術協會編
哲學の立場　桑木嚴翼
法窓餘滴　泉二新熊
東亞新書　戰時經濟論　山田茂勝
滿洲交通の展望　伊澤道雄
歷史文學論　岩上順一
明治の東京　馬場孤蝶

時局雜誌　五月號
特輯　戰爭遂行下の國內革新
野村重臣　鬼頭仁三郎　菅原兵治
ジャワへの進軍　福井信吉
列島解消のために
★「マレー作戰〇〇參謀談」の感銘
★シンガポール壞滅の前夜
空襲と防空
新しい土を培ふ人たち
現代印度讀本　特別附錄
定價五十錢・送料三錢五厘　改造社

現地報告
ビルマ戰線記　倉島竹二郎
マレー血戰全記　マレー方面軍參謀
◆インドの全貌◆
北邊物語　（アラスカ）　祥瑞專一
大東亞總力戰の轉換　寺田彌吉
北邊の安定　安藤英夫
大東亞戰と北支　瀨川次郎
文藝春秋社
五月號　四十錢

社說

戰時經濟運營と統制會

本島にも可及的に設置せよ

一

國民は前線と銃後とを問はず一致協力火の玉となつて米英を屈らねばならない、[illegible]

二

[illegible]

三

かかる意味から吾人は目下中央に提出されてゐる[illegible]

物資節約に心して

國防のために頑張れ！

山本馬公警備府司令長官の時局談

【馬公電話】十二日午前山本馬公警備府司令長官は新聞記者團を引見して大要左の如き時局談を試みた
[illegible]

金融統制會を殘し

九業態別統制會設立さる

【東京發同盟】生命保險、損保、[illegible]金融市街地信用組合の各統制會はそれぞれ十四日の創立總會において定款其他の事項を決定、[illegible]

組合金融統制會

三十日創立總會を開く

【東京發同盟】[illegible]

大東亞建設と臺灣

臺北築港の實現へ

重輕工業の誘致に萬全

三輪臺北州知事談

地方長官に聽く（一）

大東亞戰下の新事態に即應し臺灣の負荷する使命完遂を期しての本島地方長官會議は本月十二、三兩日に亙り[illegible]

臺北州の[illegible]

愈よ劃期的轉換へ

纎維製品需給調整の確立

高雄魚市場の成績

【高雄電話】高雄魚市場に於ける[illegible]

企業整備令を實施

臺灣は六月十五日から

鈴木企畫部長代理談發表

[illegible]

六百二十八萬擔

大日本製糖今期の產糖高

[illegible]

轉廢業者への指導

金原賢之助

[illegible]

銀行預金殘高減る

三月末の產組業績を見る

[illegible]

叺增產積極獎勵

臺南州の計畫方針決る

[illegible]

農耕地整理轉換

新竹州で十九日協議會

[illegible]

拔取檢量

鮮魚檢査制改正

【東京發同盟】[illegible]

一日一億弗突破

米の戰費日を追うて急增

【リスボン十四日發同盟】ワシントン來電、[illegible]

府縣連絡部

全國一齊に七月一日から開廳

[illegible]

商況（十四日）

株式

兜町前場況

【東京發同盟】[illegible]

兜町後場況

【東京發同盟】[illegible]

實物市場

物色買ひ

[illegible]

預金は著增

臺北手形交換所

本年四月末に於ける臺北手形交換所組合銀行の預金は一億七千萬圓にして、前月に比し九百三十六萬圓の著增を示し貸出金は一億五千二百萬圓にして前月に比し四百四十五萬圓を減少した、預金の前月比較激增は經濟界の膨脹に依る貯蓄の增加に外ならない、鋒詳を掲ぐれば次の如くである（單位千圓）

[illegible]

東京短期前場

東京短期後場

東京長期前場

東京長期後場

東京短期日步

東京短期取組

東京長期總取組

大阪短期前場

大阪短期後場

大阪短期日步

[illegible]

主幹 東京外語教授 神谷衡平先生
月刊 日語指南
大好評發賣中
月刊 支那語雜誌 發賣中
螢雪書院

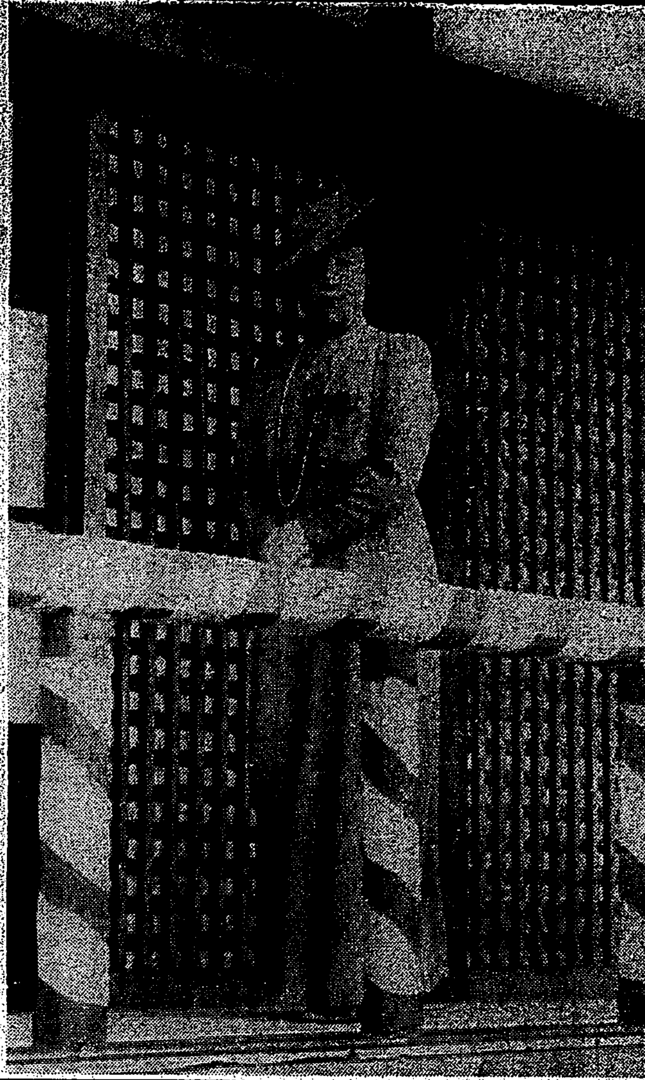
イチジク浣腸
發勢だ！
浣腸は イチジク浣腸

消炎鎮痛濕布藥
粉末エキホス
エキホス姉妹品
A―PE3'31S
新發賣
本劑は經濟な粉末ですから携帶に便利で[illegible]
主治効能 感冒、肺炎、肋膜炎、氣管支炎、扁桃腺炎、中耳炎、ロイマチス、神經痛、打撲傷、捻挫等
發賣元 武田長兵衞商店 塩野義商店 田邊元三郎商店 二已合名會社

おしやべりするな！

あなたの無駄話を一言も聞きのがすまいと、耳を立てゝゐる奴がゐる。スパイ――スパイは、あなたから取つた材料を種に人心動搖を狙つて恐しいデマを飛ばす。戰爭してゐる日本！戰つてゐる父、夫、子そして兄弟……―思はぬおしやべりが憎い敵の爲になるのだ。つまらぬ無駄口を叩くな
赤玉ポートワイン本舖 株式會社壽屋

來の療法を一變す
强力ルーベリー
淋病は姑息な療法では治らない。[illegible]
強力ルーベリーによる治療は從來の[illegible]
主治 急性淋病、慢性淋病、副睾丸炎、膀胱炎、尿道炎、攝護腺炎、中耳炎、扁桃腺炎、化膿性婦人科疾患
東京 竹村製藥所



皇后陛下　日本赤十字社總會會場に行啓

大本營海軍報道部課長　平出大佐講演

"死"を豫想し部下に浮袋投げ與ふ上官

（承前）大體彼等は今迄の戰に際しては色々やらなければならない事があると思ふが、それを次から次とやらされてゐる、中にはその人でないと知らないと云ふ知識がある、さう云ふ腕を持つてゐる者は特に選ばれた捕虜で自分が今迄やつてゐた

仕事を　やればよいと云ふ事になる、例へば精油の機械でも特に和蘭で作つた機械は日本人では動かし難い、それには捕虜の中からやりつけてゐる技師長を連れて來て動かせる、彼等は「やらなければ……」と最後の覺悟の據で眞く命令通りにやる、その爲めに案外難かしい機械もどん〳〵修理され仕事は捗どつて行く、思つたより早く此年の春には復舊すると云ふ見込みが出來た理由である、捕虜の心理と云ふものは大體そんなものだがその外に私は俘虜の言を聞いた事があるが、ビルマ人であつたが或る商船の事務長をしてゐた男の話である、船長は英人で自分は船長の下で十數年間親しく働いて來たが、その船が日本軍に沈められた時、自分は英人と日本人の間には何と大きな違ひがあるかを發見したと云ふのである、船が沈められると救助艇が降されたそして英人だけが乘つた、自分はビルマ人であつたが十數年間働いて居た親しい間であつたが船長からにべなく乘船を拒絶された、之で永々自分は死ぬのだと思つて漂つてゐると日本の船が來て助けられ今日に至つた、日本の人達は自分を捕虜にしたが捕虜の扱ひをせずに友達として扱つて呉れてゐる、自分達は英人とは

友達の　心算であつたが敵の艦に救はれたと泌々述懷して有難がつてゐた、捕虜の扱ひについては日本が國際條約に入つてゐないので心配してゐるが事實に於ては入つてゐない日本の方が非常によく扱つてゐる、こんな話もある、或る船に多數の捕虜を乘せて運んでゐた、その船には日本の水兵も乘つてゐた、捕虜達は非常に美しい生れて曾て食べた事のない飯を食べさせられてゐるが日本の水兵も同様なので彼等は不平を云ふ事が出來なかつた、その時或る水兵が士官の許に來て三本の煙草を出して「この煙草を捕虜に使はせる事を許して下さい、彼等は寧ろその爲めに苦しがつて見るに堪へられない」と申出たのである、側に居たのは皆日本人であつたが何となく熱いものがこみ上げる氣持がしたと私に話してゐた、この樣な氣持が捕虜に對する日本人の氣持であると思ふ、丁度英人船長の態度と反對の例が日本の兵隊の間にある、それは或る小さな船が敵から相當遠い所で沈められた事がある、乘員皆泳ぎ出したが一人の水兵の直ぐ前に浮袋を持つてゐる人が居た、浮袋の主は力の弱い聲で

お前に　怪我はないかと云はれた、この水兵は「お前は無事ではないか怪我をしてゐないか」と尋ねた所がその人は「自分は○○少尉だが全身火傷をしてゐて行けない、お前に浮袋を投げやつて呉れ」と云つてその水兵の方に浮袋を投げやつて聞きもたく沈んで行つた、助かつた水兵は自分の上官であつた人がなう云ひ譲り浮袋を呉れた事はどうしても忘れる事は出來ないと涙を浮べて語つてゐた、日本人にある温かい氣持と英人の冷たさが茲に戰ひに勝つ國と負ける國の差が出て來るのだと思ふ、私が今度の視察の内で非常に感を深くした事は第一線部隊と云ふものは斯う云ふものかと感じた時であつた、馬來半島でも或はジャバ、スマトラでも今はもう第一線の姿は先づないと思ふ、それは敵が戰ふべき時は降參して終ひその時始末に非常に驚かされ大變な苦しみをしてゐるが抵抗して來る敵は先づない、所がチモール島に行くと狀態は一變してゐる、クーパンと云ふ大きな飛行場を落下傘部隊と陸戰部隊が協力して占領して今日盛んに使つてゐるのである、そしてこの飛行場から日本軍は一番近い濠洲を攻擊するのだがまことに濠洲としては堪らないので自分の目と鼻の先のクーパンと云ふ味方の飛行場を占領されて、日本の飛行機が飛んで來て

濠洲を　攻めるのですから彼等も苦しまぎれに之を取返さうとするのか度々攻擊に來る、約二ケ月の間に來襲して來た敵機は二十七機、結局二日に約一機の割で來襲して來るそこでこちらでも油斷も隙もならない、或る日は敵を攻め或日は攻められてゐる、そしてアメリカは濠洲を足場にして日本に大反擊を加へるのだと豪語してゐるし事實内心さう信じてゐると思ふ、從つて攻擊も猛烈であり又眞面目である、上の空の攻擊ではない取返さうとする攻擊である、その攻擊を受けてゐる第一線部隊が之を防ぎ得ないとすれば後方の戰線は非常な混亂に陷つて今迄の[illegible]作戰を終つたとしてゐる形勢が更に彼等の攻擊を受ける事になる、從つてクーパン飛行場を守り通す事は大東亞戰の戰局から見ても容易ならぬ重大な事である、之を守る陸海荒鷲の勇士達は本當になつて第一線で戰つてゐるのである、兵營或は兵舍は飛行場からかなり離れた所にあるかなりと云つても何百米と云ふのでなく精々百米のものだがそれでさへ彼等は兵舍には寢泊りしてゐない、飛行場の中に天幕を張りその中に居住してゐる、さうしなければ敵襲と云ふ場合直ぐに戰鬪機が飛び出せないからである、一瞬と雖も彼等の頭から敵襲の觀念は去らない、その際には彼等は大擧して

濠洲を　攻めなければならない、さうしなければ濠洲の敵部隊が勢ひを盛返して攻擊して來るので油斷がならないのである、併し勇士達の意氣はまことに軒昂で如何なる時間でも直ちに敵を殲滅する氣魄が溢れてゐる、私が飛行場に話を聞きに行つたのは或る晩であつた、眞黑な飛行場である人影も見えない、所が其中に今申した天幕があちらにもこちらにも張つてあつてその中に今にも戰鬪機を飛び立たせ樣と待つてゐる、併し話聲も聞えず姿も見えない、灯りは一切ない、本當の燈火管制である、その中を私は勇士達の手柄とか或は見事であつた話を記錄に留めるために灯りを要求したが渡された灯りは懷中電燈の灯りを極細かに遮蔽された小さな灯りであつた、勇士達のいとも落着いた途方もない勇しい話を次から次へと話して呉れたのである、このクーパンと云ふ所は僅かに四、五百人の住民しか居なかつた所である、其處にいきなり四千人と云ふ勇士が上陸したのだから食べ物が足らない、一見してチモールは外の蘭印の島よりは非常に荒れた感じのする島である

住民の　大切にする椰子も檳榔の樣な木に變つて椰子らしい椰子はない樣である、草も枯れて枯てゐる、南洋では雨が降り日が照るので草が青々してゐるが、この島は草が枯てゐる、それ程水が缺乏してゐる、水は何日かに一度何百人に何瓩と云ふほんの一なめする程しか水がないのである、まことに暑いのに拘らず氷一つ有りつけない、風呂は仲々入る譯に參らない海の水で顏を洗ふ位が關の山である、食べ物が足らないので暇の時に漁撈班を編成して魚を獲りに海に出て魚を獲つて來ては之で何とかしてお菜を拵へて行く、野菜は殆どない、日本から米を運んで來る、私は勇士達と同じ朝飯を食べたが三ケ所目の御飯を後方から如何ですかと勸められた時に殘つてゐた小さな鑵詰の一きれを見て之で御飯が食べられるかどうかを考へてから食べたが、この困苦の中にあつて勇氣凛々たる勇士を見た時第一線とはこんなものかとひし〳〵と感じたのである、そして私は第一線に來たと云ふ感じがした、月が出ると敵襲があるかも知れないと○○司令が云はれたので、長い間待つたが遂にその晩は[illegible]

敵襲は　なかつた、この時敵襲を受けて居ればもつと生々しい戰爭の話が出來たかと思ふが殘念である

"俺達は日本人の子孫"

固く信ずるミナハサ州民

[illegible]然るにメナドは日本の落下傘部隊と名のつくものが初めて一月十八日に降下した所である、セレベスの北端ミナハサ州にある、この州民は日本の子孫だと自信してゐるが、この氣持は邦て日本に對する信頼となりまことに私が親しみもなかつた程に親しみを持つてよく降服して呉れました、之は私達へるに大東亞戰爭の一つの大きな特徵と思ふが一度

占領し　て治定を終ると其處には後方擾亂のゲリラ戰がないと云ふ事である、支那の事變の方な占領した後もどれ程自分達の後方擾亂に惱まされたか想像される、所が今度の占領地では武裝も何もしないで街を歩いても夜も晝も何等不安な感じがない、之はまことに[illegible]の孫なのであると思ふそれは申す迄もなく原住民達が日本人に對する非常な親しみを持つてゐるからである、何故親しみを持つ樣になつたかを私は考へて見た、ミナハサ州の州民の如く日本人の子孫と信じてゐる事は例外である、併し事實はさうであるかも知れない、古い言葉を調べて見るとその中には何處か外の國にない名前がある、文字も日本人でなければ使はない文字がある、彼等の言葉の中にも日本語とよく似たものがある、[illegible]と云ふ言葉は日本語と同じ意味で讀んでゐる又に飯（メシ）をナシと云ふが之は片假名の「メシ」を誤に見て「ナシ」となつたのではないかと思ふ、魚の事を「イカン」菓子は「クワン」と云ふ、飯はナシ、魚はいかん、菓子は食はんとは一寸變だが之の外に發音を見ると實に我々の語音と同じ事である、或る時

私共の　前に出て來た娘さん達に言葉をかけると「わかりません」と答へる、そんな言葉はないと傍の者に聞くと何その娘達は原住民であつたのである、當然その昔日本の血が入つてゐるのだらうと思はれる、顏かたちにミナハサ州以外の原住民とは非常に違ふ色も白く日本人より白い、つくりは日本人と同じである、さう云ふ所から日本人に親しみを持つのは當然で彼等が實際どうしてゐるかと云ふとミナハサ州を通る限りの日本人に對しては非常な親しみを以て敬禮しないでは通さないと云ふ事である、外の島でも我々が通ると敬禮する處もあるがミナハサ州では一人でも例外なく敬禮する、そして[illegible]な所では道路に跪いて敬禮する所もある、[illegible]した番兵が立てゐる前を通る時は自轉車で忙しさうに疾走して來ても降りてヘルメットを脫いで最敬禮をして又走つてゆく、然も銃器、兵器を持たない人から見ると[illegible]ピストルを持つてゐる人間は[illegible]えらい人と思つてゐるらしい、斯う云ふ親しみが全原住民の間に行渡つてゐるのである、併し彼等が安心せしめたとか或は日本兵が親しみを持たせたと云ふ事の一番大きな原因は我々の先祖の血には日本の血が流れてゐるからである、和蘭人達は日本が如何にえらい國だと云ふ風な事は一切

原住民　に教へなかつたので何も知らずに居つた、唯傳へ聞く所によれば我々と同じ民族だと云ふ位の知識であつた、所が戰爭になつて彼等は驚いた、それで自分達が今迄奴隸の如く使はれてえらかつた筈の和蘭人が日本人の前に出ると捕虜にされてみじめな姿に陷つて終ふ、從つてあれ程えらかつた筈の和蘭人よりも日本人は餘程えらいのだ、日本の飛行機が飛んで來ると家に逃げ出す、もう一つは同時に町を歩く人が家に入つて出て來ない、彼等は日本の飛行機の爆擊の恐しさをしみ〴〵聞いたらしい、或は味はつたものもあるかも知れない、殊に日本の飛行機がえらいと感ずる理由の一つは日本の飛行機は大きく非常に高く飛ぶ、和蘭のは餘り大きくなくあれ程高くは飛ばない、であるから敬禮しなければならないと云ふ事になつた譯である（つゞく）

在鄉軍人は

臺灣奉公壯年團に積極的に參加せよ

藤岡兵務部長から示達

臺灣奉公壯年團は臺灣の高度國防體制建設を目ざす皇民奉公運動に對し大きな役割を持つとの理由で、藤岡臺灣軍兵務部長は去る十二日附管下各兵事部長に通牒を發し、在鄉軍人が臺灣奉公壯年團に積極的に參加する方法を明かに示したので、臺灣奉公壯年團では十五日本部團長名を以て各地臺灣奉公壯年團長及び各州廳支部長に右趣旨の徹底方を通知した、藤岡兵務部長の通牒要旨は次の如きものである、軍人が奉公壯年團に加入するのは個人の資格に於てするものであるから在鄉軍人分會としては關係しないけれども、分會の役員になつた者でも團に對しては進んで參加すべく又分會長が參加を認めないといふ所以で團體する者も有るやであるが奉公壯年團の本質に鑑み之等進んで參加すること

田中訓練部長　中南部へ出張

皇民奉公會訓練部長田中富氏は推進員懇談會、壯年團支部結成式及び壯年團懇談會、婦人團體懇談會等に出席の爲左記日程で中南部に出張する

十五日　臺中師範學校における州下推進員大會（午後一時）
同日　彰化市壯年團懇談會（午後七時より）
十六日　高雄市壯年團懇談會（午後二時より）
同日　臺南壯年團懇談會（午後七時より）
十七日　嘉義壯年團懇談會（午後三時より）
十八日　臺中州廳に於ける臺中支部結成大會（午前十一時より）
同日　臺中州下壯年團長會議（午後二時より）
十九日　彰化及臺中婦人團體懇談會（午前十時より臺中、午後二時より彰化）

乙女推進隊巢立つ

第六回桔梗クラブ員の鍊成終る

第六回桔梗俱樂部修了式は十四日午後四時半より第一高女で擧行された皇奉本部側より山本事務總長、田中訓練部長出席、定刻國民行事に次いで五十八名の鍊成員に修了證書を授與、終つて山本事務總長の訓示、大阪病院長の祝辭、修了生代表高橋[illegible]子さんの答辭あつて、同五時十五分閉會した、ここに四月十一日より鍊成をつづけて來た五十八名の乙女達は皇民奉公の推進員として街に巢立ちを開始したのだ

臺北桔梗クラブで第七回會員を募集

桔梗クラブ第六回訓練は十四日終了したので皇民奉公會中央本部では第七回會員を募集中である

全島兵事主任會議

きのふから馬公水交社で開會

【馬公發】總督府石貝兵事主任外全島州、廳、市、郡兵事主任八十八名は十三日午後馬公着、十四日午前九時から馬公警備府水交社に於て兵事主任會議は松本參謀長、野々垣經理部長、古川先任參謀、原口副官、高[illegible]少佐、角本、松井兵主計大尉臨席の下に開會、大東亞戰爭下におけるこの會議を[illegible]兵事主任會議は彌が上に緊張裡に行はれ聯絡事務打合せ、兵事關係一般會議は第一日に於て終了、終つて原口副官案内で警備府内各所を見學して第一日の日程を終了、同夜軍樂隊演奏、[illegible]映寫會があつた、第二日の十五日は[illegible]中佐の軍事講話、軍艦見學等をなし會議を終了十六日朝一行は馬公發の豫定である

平出大佐離臺

南方戰線視察の爲途次來臺した大本營海軍報道部課長平出英夫大佐は島民に感激の[illegible]を與へ十四日歸京した

島崎參謀長の着任俟ち　松本參謀長不日赴任

【馬公發】中央部發令に榮轉の馬公警備府松本參謀長は後任島崎參謀長の着任を[illegible]赴任する筈である

宜蘭市第三種防訓

夜は燈火遮蔽を訓練

【宜蘭電話】宜蘭市の第三種防空訓練は防衛本部と各分團の緊密な連絡の下に諸種の訓練並に警察[illegible]に一糸亂れぬ統制振りを示し夜に入つたこの間統監部でも午前一時、午後二時空襲警報を發令、特護、防火訓練を實施したが夜は完全な燈火管制下に訓練を續行したが明知統監は水谷少佐、大山[illegible]方課長と共に市内の管制狀態を視察した

胃腸に照内末

臺灣男女青少年團大會

十七日開催　大會行事日程決定

總督府では[illegible]二十日臺灣青少年團設置に關し訓令を公布したが[illegible]十七日全島地方男女青少年團[illegible]臺北市に[illegible]結成式をかれ大會を舉行することとなつた、[illegible]

◇結成式　[illegible]
◇分列式及び市内行進　[illegible]
◇南方派遣青少年團員壯行會　[illegible]
◇青年の夕　午後七時から公會堂[illegible]
▲[illegible]

苦惱、焦躁の餘りの人氣取り的苦肉策

米國帝都空襲に關し　陸海軍當局談發表

【東京電話】去る四月十八日の米機の帝國本土空襲に關し陸海軍當局は十九日夜左の如き談話を發表した

四月十八日帝國本土を空襲せる敵機はノース・アメリカンB二五型十數機で東方洋上より京濱、名古屋、神戸、新潟方面を目標に單機若くは二、三機編隊を以て[illegible]

經濟關係者乘船の○○丸東支那海で沈沒

襲擊敵潛水艦直に爆沈

【東京電話】海軍省發表（[illegible]）[illegible]

沈行く船橋に立ち　朗々『君が代』奉唱

輸送指揮官、船長從容死につく

【東京電話】[illegible]

大相撲夏場所

五日目勝負

【東京電話】大相撲五日目勝負

◇十兩
三段目
[illegible]

中入後
[illegible]

明朗な話
男子に快告
試藥附說明書無代進呈
奈良市林小路三條大通り
かすが野莊
電話三七四〇番

ドモリ
東京正生院

小心・恐怖矯正
東京正生院

映畫と演藝
大世界館
芳乃館
國際館
新世界館
[illegible]

七分搗の御飯に慰問袋には是非…
やまと味の付
ごま鹽

臺灣飼料株式會社
第二回決算報告
[illegible]

會葬御禮
源田榮右衛門
啓太郎

亡妻芳子告別式相營候節は態々御燒香を賜り難有御禮申上候
三組丸須美人

特效
アカネ
日本最初の高貴特許
泡のない國策洗劑
陸海軍各團體御用達
株式會社アカネ貴藤本舖洗劑部
臺北總代理店　近藤商會

テルビーは慢性胃腸藥

齒科
澁谷齒科醫院

案内
[illegible]

萬媒
[illegible]

明るい印刷
精美堂

公告
[illegible]

簡易病舍を急造し

カレン部落民皇軍に協力

・ビルマ戰線・戰傷兵に寄せる眞心

【東京電話同盟】ビルマ〇〇前線報道班員窪田一夫發＝サルウイン河右岸の要衝パアンに近い手前八粁の地點にオウノペン・カラノといふカレン人の部落がある、この部落の西南端へヒンに通ずる自動車道路に面したソエカへ寺院がパアン攻略戰に確保した佐藤部隊の戰傷者の收容所に充てられてゐた、ここは三方が小高い山に圍まれてゐるので敵機の低空飛行が出來ないため[illegible]してゐた部隊の[illegible]から良く[illegible]かれてゐてとても地の利を得てゐた、お寺は本堂の外には日本の田舍によく見受ける社堂のやうなお粗末な建物が二つほどあつたが患者を全部收容し切れないこの地方の民家の特徴である人が立つて通れる位の高さに作られてある、床下を利用して病舍に充てたのであつた、ここも敵部隊はパアン奪還のために連日の猛攻撃を續行して來たものだから暫らくの間は後方との連絡がなくて給與その他不自由を感じてゐたビルマだから米は豐富にあつたが[illegible]としての[illegible]に[illegible]衛生隊のことだから藥品の持合せにも限度があつた、收容される患者は日增しに增加するばかりであつたから隊長岡山軍醫も池邊[illegible]も並々ならぬ苦心をされて何とか應急手段に訴へて急を凌ぐ外に良き方法もなかつたやうであつた、カレン人は毎日トリアジヤ、バナナを少しづつ持參して慰問して呉れる、時々パアンの避難民が附近のジャングルの中から鷄や砂糖を運んで慰問して呉れたこともあつた、ビルマの住民はビルマ人であらうがカレン人であらうが日本軍を信頼して心から歡迎して呉れる、大抵の依頼に應じて協力して呉れる、特にこのカレン部落では病院が出來たからでもあらうが部落民が全部集つて來て病院の手傳ひをした、それからといふものは毎日十四、五人の部落民が詰めかけて兵隊さんに頼まれるままに[illegible]の御用を承はつたり[illegible]の持ち運びを手傳つたり日本の兵隊さんの仕事を手傳ふことは無上の

名譽 と心得てゐるのであらうそれを見て嬉しさうにわれ先にと驅くのである、その頃から患者も殖えていよいよ假の病舍の設置を感じて來たので隊長以下衛生隊員は何等かの方策を講ずべく心配してゐた、ある日の夜明け方であつた兵らしくもここのお寺の鐘が鳴つた、暫らくしてから部落民が手に手に山刀や手斧を下げて集つて來るからさては何事かあるのかなと樣子を見てゐるとお寺の僧侶が現はれて一場の訓示をしてゐるやうでもあつたが何か話をしたらしい部落民は一齊に散つて何處かへ出掛けたやうだつたが間もなくして裏山の竹や椰子の葉を切り取つてどんどん運んで來た、竹の柱で木の葉の屋根、壁はないが地べたに稻藁を敷き詰めた床の至極簡單な

病舍 を建築して呉れた、日中の照りつく陽射しも夜半の[illegible]寒さもちやんと防がれてゐる、緑にすつかり埋もれて寢るのは暖かくて具合がいいと患者は大喜びであつた、これで隊長さん達の心配も解消した、かうして部落民の熱心な勤勞奉仕によつて病舍は次々に建築されてゆき非常な收容力のある病院になつた、患者は悠々としてとてもゆつたりしたらしい、唯る心配は患者食の給與だけとなつた、これも部落民はパアンに出掛けたり附近の部落を訪ね廻つて鷄や豚、卵や[illegible]等を搜し集めて來る、これで充分とは言へなかつたけれども食べることのみが今は唯一の樂しみである戰傷兵はこの部落民のもてなしにどの位感謝してゐたか判らない、病舍の表の方に一軒の[illegible]

住民 の家がある、この主人は小さい二人の子供の父で一見餘り氣の利くやうな顏をしてゐないオン・セインといふ名前のものであつた、このオン・セイン君は毎日のやうに病舍に現はれては人手が不足して困つてゐる衛生兵の用達から身體の不自由な患者の用事まで色んな世話をするどころか[illegible]でやつてゐた、オン・セイン君はなんと決心してかくも涙ぐましい奉仕を毎日根氣よくやつてゐるのか言葉の通じないためしかと聞くことも出來ない、オン・セイン君を見ると戰爭の[illegible]さへ出て來るのであつた、オン・セイン君は唯戰爭で傷ついた日本の兵隊さんの不自由を見て氣の毒だと考へてやつてゐるのかも知れない、或ひはもつともつと深い考へに基いてやつてゐるのかも知れない、このカレン部落の熱心の[illegible]められた患者收容所も二箇月を經過した今日では用がなくなつて再び前線に出てゐるが今頃あのカレン部落はどうしてゐるであらうか、もう一度行つて見たい[illegible]なつかしさを感じる

巷を海軍色一色へ

高雄市海軍記念日行事決る

【高雄電話】大東亞海を壓する唯一無比な作戰により聯合國勢力を次々に破碎殲滅しつつある皇軍大戰果の蔭に輝く第三十七回海軍記念日を迎へるに際し、高雄市では[illegible]皇國の興隆を[illegible]せる日本海大海戰を想起し我が無敵海軍の殊勳に對して感謝感激の誠を捧げる爲め當日をして意義ある記念行事を實施する事となり十四日午前十一時より市會議事室にて關係官民參列の下に打合會を開催の結果次の如き諸行事を以て市內を海軍色に彩る事となつた午前八時半市役所前廣場にて官衙各種團體學校生徒兒童一般市民參列の下に記念式があげられ同十時から時局色豐かな記念講演會、午後一時からは陸海軍並に官民から夫々戰士を選び相撲大會に入り國民學校兒童のリーグ戰も行ぜられる、又市役所會議室では市內官民有志が參列して祝賀會を開催する

奉公班單位に

國語部落建設

嘉義郡・國語化に拍車

【嘉義電話】嘉義郡では國語の普及常用は內臺一如の根基を培ふ重要事項であり且つ皇國民たるの資質は先づ國語の常用にあるとなし全部の國語化を目指して國語講習所の常設擴充をなし又は奉公班を單位とする國語部の開設により國語普及常用に全力を注いでゐるが今回同郡に一層の拍車をかける事により奉公班を單位とする國語部落建設の計畫を樹て先づ水上十、民雄十、新港十、溪口六、大林八、小梅六、竹崎十、番路五、中埔八、大埔二合計七十五奉公班を選定し班內の國語不解者を講習の上全部落に分ち國語を習得せしめ生活化させる事で更に郡では常會を設け優良班に對しては之を表彰し漸進的に全郡の國語化を期する事になつてをり多大の成果を期待されてゐる

慰問袋に赤誠を

豐原街愛婦前線へ六百箇

【豐原電話】豐原郡豐原街愛國婦人會では西元郡守夫人が陣頭に立ち會員の涙ぐましい活動に依り慰問袋六百個を調製し近く前線の皇軍勇士へ送る事となつた、該慰問袋は各國民學校兒童の慰問文や人形等前線の勇士に喜ばれる物が多く慰問袋に[illegible]民の赤誠を披瀝した（寫眞は豐原愛國婦人會の慰問袋調製狀況）

酒類販賣は空壜と引換へ

けふから高雄で實施

【高雄電話】專賣局高雄支局管內（高雄市、岡山郡、鳳山郡）では十五日より酒類販賣に對し空壜と引換制を實施する事となつた

獻金で皇軍へ感謝

軍司令部（十二日）

國防獻金 二八二圓臺北州[illegible]一同、二八圓七〇錢臺北市錦町二七官吏新田淳、三圓臺東街寶町寺澤[illegible]、五〇圓[illegible]、二〇圓[illegible]、一八〇圓五〇錢[illegible]、一〇圓[illegible]、六圓[illegible]、五〇〇圓[illegible]、一五〇圓[illegible]、一二〇圓[illegible]、八圓八四錢[illegible]、二九圓九九錢[illegible]、三圓五錢[illegible]、一圓二八錢[illegible]、一二五一名、三圓〇二錢[illegible]、〇圓六九錢[illegible]、一八圓二九錢[illegible]、四圓三〇錢[illegible]、計一、〇一六圓六七錢

恤兵金 二〇圓臺北市[illegible]、一〇〇圓[illegible]、五圓臺北市[illegible]、七四圓五〇錢臺北[illegible]、二三圓[illegible]、[illegible]、六五圓[illegible]、四五圓[illegible]、二〇圓[illegible]、一〇〇圓[illegible]、二〇圓[illegible]、一〇圓[illegible]、五圓[illegible]、計六七六圓五〇錢、合計一、六九三圓一七錢

獻品 茶碗一七箇臺北市[illegible]國民學校[illegible]外七名

海軍武官府（十二日）

國防獻金 竹南郡[illegible]一同三十二圓、同[illegible]一同三十二圓、同[illegible]十圓、同[illegible]十圓、新竹州[illegible]一同二百圓、新竹吉川マス五十圓、新竹[illegible]一同二十五圓

恤兵獻金 新竹[illegible]一同百圓、新竹[illegible]一同二百五十圓、同州[illegible]一同二百圓、[illegible]一同五十圓、新竹州[illegible]一同百圓、新竹州[illegible]六十圓、[illegible]一同二十五圓、[illegible]一同三圓八十錢、[illegible]一同十五圓、[illegible]三十圓七十四錢、[illegible]五圓、[illegible]二十錢、[illegible]四圓五十錢、[illegible]一同七十八錢

國防獻金 臺北[illegible]——十二日發——

[illegible]一同七十四圓五十錢、[illegible]一同三十四圓、[illegible]一同五圓、[illegible]一同百五十圓、[illegible]一同五百圓、[illegible]一同二十一圓、[illegible]合百圓、[illegible]三十五圓、[illegible]十五圓

九勇士遺族弔慰金 竹南郡[illegible]一同二十二圓六十二錢

——十二日發——

國防獻金 臺北[illegible]一同三十七圓、[illegible]一同一千圓、[illegible]五十圓、臺北[illegible]ホテル[illegible]一同百圓

恤兵獻金 [illegible]一同十五圓、[illegible]一同十圓、[illegible]五十圓、[illegible]十圓

"山の青年鍊成"完し

逞しき姿で・けふ巣立つ

【新竹電話】新竹州警務部では山の青年を鍊成すべく昨年十一月二十六日竹東郡井上に「新竹州高砂族青年鍊成所」を設立開所式を擧行した、同鍊成所は現臺北州理蕃課長時代に計畫され現[illegible]、內田前理蕃課長、現土井理蕃課長の手を經て資材缺乏を克服しまた全高砂族青年の涙ぐましい勤勞奉仕を織り込んで完成したのである、總坪數一千六百坪、工費二萬五千圓を投じただけあつて素晴しい建物である、第一回の入所青年は五十名で訓練を開始したのは志願兵志願者正式受驗の[illegible]二月十五日であつた、以來まる三ヶ月この間に豫定の訓練をうけて今十五日午前九時から第一回修了式が擧行される、「州下高砂族青年の智德を鍊成し國民精神の涵養に勤勞の良習を啓培するを以て目的とす」の規程通り宮田部長、小岡警務部長[illegible]諸勇士の[illegible]等が中心となつて午前六時から午後一時迄訓育、國史、地理、社會教育、算術、國民禮儀、農業、家畜等を教へることになつてゐる、斯くて新竹州下山[illegible]の同胞の皇民鍊成は時局と共に力強く前進する

重要な新事態の發展

伊太利のマイク、ガイダ氏說く

【東京發同盟】ジョルナーレ・デイタリア紙主筆ガイダ氏は久しき沈默を破つて同紙上に「ヒトラー總統、ムッソリーニ首相間の協力が特に政治、軍事的部門に於て再確認、再檢討され新展開を見るであらう」と說いた、これは春季攻勢を開始した樞伊の軍事的協力が一層強化され近く極めて重要な新事態の發展を豫想せしめるものとして極めて注目されてゐる、ガイダ氏は一八八五年の生れだから今年五十七歲である、トリノ大學を卒業、若くしてジャーナリズムに身を投じ廣く各國を視察した、大戰當時から屢々外務省の囑託として重要政策に參畫し一九一九年には外交使節團の一員としてスウェーデン及び英國に使ひしたこともあり、外交通として重視せられてゐる、一九二一年から同二六年まではメッサジエロ紙主筆として活躍したが同年からジョルナーレ・デイタリア紙に轉じ現在に至るまで同紙主筆として[illegible]の論陣を張りイタリア政府の代辯者として目覺ましい活躍を續けてゐる、「イタリアのマイク」といふ言葉こそ最も良く氏を表現し得るものと言へよう

結婚―育兒まで

臺東街で相談所を新設

【臺東電話】臺東街役場の親ごころ―街民のため人事百般何でもご相談に應じますといふ相談所がこの程設置され親切に街民の相談に乘ることになつた、從來街役場には相談部といふのはあつたが主として稅務だけの相談であつたのをこの度その機能を擴大して強化することになつたのである、相談部の內容は結婚の相談をはじめ申込めば結婚式もするし職業紹介、家事家計、家庭教育、衛生、戶籍、民法上の惱みは何でも持ち込んで下さいといふ[illegible]の[illegible]味ある計らひに街民は非常に感謝してゐる

高雄州下保甲役員

聖地參拜へ

【高雄電話】高雄州警務部では州下保甲役員、壯丁團幹部を以て聖地參拜團を組織、團員四十五名を小林保安課長引率の下に近く聖地へ向け出發の豫定である

中埔國民學校

校舍上棟式

【嘉義電話】火災で燒失の爲め新築中の嘉義郡中埔國民學校校舍は十六日午前十一時より上棟式を擧行する

御親閱拜受章

臺南州六青校へ傳達式

【臺南電話】曩に御親閱拜受の光榮に浴した臺南州下の六青年學校に對し今回御親閱拜受章が下賜されたので臺南州では二十二日午後一時知事公舍に於て拜受章の傳達式を行ふ

臺南第一、第二、嘉義、山下、新營、虎尾の各青年學校

飛ぶ樣に賣れる

"シンガポール"と"その後"

【東京發同盟】最近英國で「シンガポールと其後」といふ本が出版されて羽根が生えたやうな賣行を見せてゐる、著者は錚々たる政府反對派の急先鋒上院議員ストラボルギー卿である、彼は本書全篇を通じて東亞に於ける英帝國の崩潰を招いた諸原因を辛辣に批判し更にチャーチルとそこの破局を生んだ直接の責任者であることを明言してゐる、ストラボルギー卿の見るところではチャーチルが英國民に對して犯した最大の罪惡は現實を無視した樂觀的幻想を最後迄まき散らしたことに在り、殊に日本軍が極めて迅速にマレー半島を北から南へ席卷し英軍はこれを防ぎ支へる何もない情勢下に於いてすらチャーチルは徒らに強がりを言つて星港死守を宣言して國民を欺いたといふのである、尤もチャーチル自身もマレー防禦の實相を知らず防戰は可能と信じてゐたのかも知れぬが、孰れにせよチャーチルの當時行つた各種の言明は今日これを顧みれば實に馬鹿げたもので國民から馬鹿呼ばはりされたポパム前英東亞軍司令官の言つたことよりも更に輪を掛けて惡かつたとストラボルギー卿は嘲笑してゐる、最後にストラボルギー卿はマレー防禦の不備をこつぴどくこき下し英政府內閣はその責任をとつて總辭職すべしといきまいてゐる

田中訓練部長

圍み座談會

【嘉義電話】嘉義市奉公壯年團では十七日午後三時半より高女講堂にて[illegible]出席の下に皇奉本部訓練部長田中大佐を圍んで今後の活動服務に關し座談會を開催する

經濟警察事務

臺南州で打合

【臺南電話】臺南州では戰時下經濟警察事務の圓滑を圖るため十四日午前十時より北門郡役所會議室に於て南部一市四郡の經濟警察部[illegible]以下係官が出席事務打合會を開催、經濟警察事務執行外十件につき打合せ協議をとげた

岡山憲兵分遣

隊落成式擧行

【岡山電話】高雄州岡山憲兵分遣隊落成式は十三日午前十一時より同隊構內にて石黒少將、知事代理金田警察部長、岡山郡守、憲兵隊長代理、高雄憲兵分隊長、其外官民多數參列の下に盛大に擧行した

共榮圈建設へ

"三組の"日支夫婦"

新竹州下に拾つた美談

【新竹電話】本島人の妻となつた支那の三女性が"これからは私達も日本婦人です"と皇民奉公に日夜勤みつつあり、その一人は夫出征の銃後を守れば、[illegible]許可を得て[illegible]、一人、更に近隣者に北京語を教へ日支親善に努める等決戰下新竹州下の片田舍で拾つた三組の日支夫婦をめぐるささやかながら[illegible]建設に協力する麗しい美談―

[illegible]と陳氏[illegible]（三〇）さんの話―竹東郡北埔庄北埔二四七、陳君は同地[illegible]氏の末弟で昭和十一年二月昭南島へ渡航、石[illegible]の現場監督として[illegible]く中、[illegible]さんと意氣相投じて結婚、同地で入籍手續を濟ませ大東亞戰爭前の昨年五月結婚旅行をかねて歸省した、其の後陳君は[illegible]として[illegible]第一線に向つたので[illegible]さんはかつて昭南島でゼネラルホスピタルの看護婦を勤めてゐた事があるだけに夫留守中を只無爲に過して[illegible]いと日本の看護婦を志ざすべく臺北日本赤十字病院に志願目下修練中である、同女の父母も一旦日本人の妻となつた以上は良く[illegible]夫の留守を良く守り通せと勵ましたとの事である、同女も今は立派な日本人としていつの日か許されるであらうその日を待つて夫と共に昭南島へ渡り[illegible]した日本の[illegible]で[illegible]に從事したいと[illegible]を滿きたたせてゐる

[illegible]（二〇）と[illegible]（二〇）さんの話―苗栗郡苑裡庄苑裡八五[illegible]君は[illegible]として[illegible]前から大連へ出張中たまたま北京から遊びに來た[illegible]さんと知り合ひ兩親の許を得て一昨年秋結婚、同年十二月歸臺、昨年十二月三日正式に入籍手續を濟ませた、[illegible]君は現在また[illegible]中であり、同女は北京で「北京の聖者」清水安三氏の崇貞學院を昭和十三年[illegible]生として卒業してゐるだけに國語も達者で近代的な[illegible]な女性である、何かお國の役に立ちたいと目下自宅で北京語講習會を開いてゐるが同女は語る「日本人も支那人も同文同種の[illegible]です、二人の結婚に何も不思議なことはありません、清水先生[illegible]

[illegible]、光[illegible]氏は大正六年[illegible]、[illegible]うち同地の[illegible]さんと知り合ひ[illegible]の許可を得て昭和十五年十二月[illegible]の[illegible]一二月十九日[illegible]になつて張きましたのでその御恩は終生忘れません、私も今は立派な日本女性ですから祖國の爲に東亞の爲に及ばずながら[illegible]つもりです」

[illegible]田光[illegible]（二〇）と[illegible]子（二〇）さんの話―苗栗郡苑裡庄苑裡一三九[illegible]田夫妻の[illegible]は李[illegible]と李氏[illegible]正式入籍手續を終へ大東亞戰爭に先立つ昨年十一月六日引揚げて來たものである、[illegible]さんの兩親も日本行きには大賛成であつたが同女は昭和六年[illegible]小學校を卒業した[illegible]そのものの女性で、最初は一言の日本語も話せなかつたところ、日本人の妻になつた以上日本語を知らねばと夫について[illegible]へから習ひ始め[illegible]引揚げ後は夫について大[illegible]を[illegible]し國語の[illegible]を[illegible]け三月十八日には[illegible]の間に[illegible]人から本島人として日本人としての[illegible]が許可されたのである、[illegible]苗栗郡[illegible]長であつた井上現保安課長も感心な女性だと賞めてゐる程である、然もお目出度いことにはこの十二日朝玉のやうな男の子を生んで[illegible]と命名した、[illegible]の同女は語る「ジャワでは[illegible]政府に[illegible]ぞれ引揚げの時には[illegible]で[illegible]きされました、ジャワの[illegible]はみな[illegible]してゐます、皇軍の[illegible]民のもとに東印度も明るくなつてほんとうに嬉しいです、許されたら夫[illegible]つて出掛け大いに日本の爲に[illegible]の爲に[illegible]たいと思つてゐるのです、今は日本[illegible]になりきることに一生懸命です（寫眞は上から[illegible]夫妻[illegible]夫妻下が[illegible]田夫妻）

愛の赤道（65）

竹田敏彦

都竹伸一畫

産業戰士（十三）

その晩、二郎は、恐縮の健吉母子に、長い手紙を認めた。

それには、前日飯倉に對するお詫に付け加へて、昨夜の千鶴子との會見の顛末から、丸山大尉宅訪問の結果なども、詳しく報告した上に、一年に餘る千鶴子の辛抱にも、何一つ報いることのできなかつた自分達一家の不行屆と自分の無力を心から深く詫び、最後に、自分の意見として、同じ出征工場で働くなら、娘一人を東京におくよりは、寧ろ設備の完備した郷の工場に引取つて、家族の許で働かせる方が、全ての點で得策であると言ふ[illegible]をも、力說して書き加へた。

そして、封筒に書きおさめ、健吉の宛名にして、近所のポストへ入れてかへると、二郎は、とんど昨日で東京驛へ着いてから、昨日まで三週間に餘る、千鶴子のさまざまな印象が、個々しいまでに、いぢらしく思ひ返された。

「だが、かうなつては、最早何とも術がない……」

二郎は、哀れに諦めずにゐられなかつた。せめて、自分がこの先いつまでも東京に留まつてゐられるものなら、また陰になり、日向になり、何とか世話してやる道もあらうが、二郎にも、二郎の仕事もあり、責任もあつて、さういつまでも、東京でぶらぶらしてゐる譯にはゆかなかつた。

翌朝の朝刊も、駐支米海軍陸戰隊千五百名全部の引揚考慮中の旨ルーズベルト大統領の言明をトップに、英國の對日包圍經濟強化の狂態振、米國中立法改正案の上院通過、ビルマ公路の米國管理など對日米英諸國の行動が、ますます險しい醜態を暴露してゐた。

「もう東京に用事もないんだ。早くダバオへ歸らなければ……」

日に高まる波の彼方、暗い風雲の中に閉ざされた比島の同胞達を思ふと、二郎も、落ち着いてゐられなくなつた。

二郎はその朝、家を出ると、麻布のヒリッピン領事館を訪れた。再渡航の相談と、便宜をはからしてもらふためだつた。

「再入國の、許可證は持つてゐますが」

係員に訊ねたが、

「どうも、現在の狀況では、船の都合がつくまいと思ひます」

「上海からエムエム會社の汽船に乘換へても駄目でせうか」

「先達ても、そのつもりで最近に上海まで行つた人もありましたがどうも乘船が難かしくて引返してきましたよ。福島縣の人でしたがね」

この風聲では、何うも駄目らしい話である。

「來栖大使も、やがてあちらへ着きますから、何うです、今少し交渉の結果を御覽になつてからにしては」

「それが、私としては待つてゐられないのです。私にすれば交渉の前途を餘り樂觀してゐないんです。それだけに、早くあちらへ行つて同胞諸君と共にゐたいんですが」

「無理だとは思ひますが、それでは何よく調べておきませう」

「お願ひいたします……」

二郎は、がつかりして、領事館を出たが、兄嫁や、佐喜子や、それから、あんたに自分に懐いてゐた日本國民學校の教へ子達と別れて、このまま、日增しに險惡に赴く、東亞の雲行をみてはゐられなかつた。

「死なば諸共！海外の第一線を護つて」

二郎は、すぐその足で、無駄と知りながら、內幸町の海外同胞中央會へ、相談の爲、電車道を停留所へ急いだ。

強く否れ！
齒力强化に…
ライオン齒磨

錠劑
わかもと
乳兒脚氣著增！
お母様が本劑を常用されるだけで、赤ちやんの脚氣が止るのに赤快され、乳[illegible]を[illegible]く効果は著しい（一日數錠）

黒椿香油コソ
黒髮ノ素ト
ナリマセウ！
黒椿
香油
洋髮
ルール

結核を根絶せよ
◇…肺・結核・肋・浸潤・ろくまく・肺尖カタルは、どうすれば早く治せるか、どうすれば再發しないか、又どうすればよいか、結核患者の見逃してはならぬ事に就て、治療の祕訣を說明した…
A治驗例の數々
B正しい家庭療法
C新[illegible]
治療參考書無代呈送
（申込先）大阪市港區石田布尾町二ノ百九
角田正直
振替大阪[illegible]

こんな時！
カンムシ強く夜啼きする
消化不良・青便・乳吐き
ヒキツケ・驚風・夜泣
食慾不振・咳嗽・虚弱兒
病弱質を！
克服し發育を完遂せしめるより良き幼兒等の協力者は
救急治病保健の良藥
虚弱體質を根本的に改善し抗病發育力を養ふ。秀れた綜合育兒効果があります。
小兒良藥
大阪天滿橋
本家
樋屋合資會社
樋屋奇應丸

肺病ろくまくでお困りの方は
有田ドラッグへ御相談下さい

治せ肺病
肋膜炎も同じ療法で
肺病、肋膜炎は藥のみで治るものでなく、[illegible]・空氣・[illegible]・食物・精神・運動等の綜合療法に據つてこそ治るのである。しかし現在起きてゐる症狀は先づ藥の力に依つて其の進行を止め、治癒の促進を圖ることが大切である。どうしたら肺病が治るか、「藥を買ふ買はぬ」は別として、專門藥舖たる全國各地の有田ドラッグへ遠慮なく御相談せられたし、事實所なき地方は[illegible]東京日本橋[illegible]有田ドラッグへお尋ね下さい

サントリー
ウヰスキー
優秀な大麥を原料として、正式の製法に從つて醸造し、永年貯藏して完全に熟成された生一本！そのふつくらと、高い薫り、まつたりと深い味は純正な本格ウヰスキーの本領です

地球鉛筆
[illegible]クレヨン

△武田新發賣品
女性ホルモン
オイペスチン錠は內服により腸內のリポイドに溶解、吸收せられて强力なる女性ホルモン作用を發現す。
しかもエステル型なる故嘔吐、嘔氣、不安等の副作用なく、其の上効果は持續的なる本邦唯一の新エステル型合成劑！
★一錠中〇・〇〇〇五瓦含有
…作用强力にして而も緩和持續的に營む新エステル型合成劑！
女子生理の不調
月經寡少、月經過多
結婚期前後の神經衰弱
更年期の諸障碍
頭痛、腰痛、逆上、四肢冷感、衰弱倦怠感
乳汁分泌不足等
オイペスチン錠
武田長兵衛商店

●頭痛にノーシン●

治病特效
伸ばせ国力！滅ぼせ頑菌！
進め貫け米英に最後のとどめ刺す日まで！
淋菌ほどしつこくて頑固なるものはありません！治療を疎忽にすると一時は治つた様で直ぐ再發して段々悪性へと傾いて行きますだから絕對なる信用と効果のある良藥を求め一日も早く淋菌を根源的に撲滅することです！
本劑は[illegible]で[illegible]がなくなり[illegible]では[illegible]に[illegible]
チューサイド
包裝24錠